5861
2144
no.14

大正十年十二月一日(第三種郵便物認可)
大正十一年八月廿八日(印刷納本)
大正十一年九月一日發行(毎月一回一日發行)

LA SEMANTO

種蒔く人

行動と批判

第二年 第三巻 第十二號

革命運動と
反革命運動

赤色プロレットカルト
インタナショナルの研究

エス・エル黨の罪狀

エスペラント講座

BERKELEY
LIBRARY
UNIVERSITY OF
CALIFORNIA

◇九月號◇

種蒔き社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

NIA DEKLARO

Iam antaŭe homoj kreis diojn. Sed homoj nun estas ilin mortigintaj. La destino de l'kreitaĵoj estas facile divenebla.

Nuntempe ne sintrovas dioj. Tamen ĉie aliformigaĵoj de dioj estas plenaj. Dioj devas esti mortigataj. Kiuj ilin mortigas, estas ni; kaj kiuj ilin aprobas, estas la malamikoj. Du kampadejoj kontraŭstaras unu la alian. Dum ĉiti[illegible] stato daŭradas, homoj estas malamikoj de homoj. Neniam estas inter ili la vojo de kompromiso; tie nur estas „jes" aŭ „ne," „vero" aŭ „malvero."

Vero estas absoluta. Ni do diras pri la Vero, kiun aliuloj ne diras. Homoj estas lupoj kontraŭ homoj. Landoj aŭ rasoj estas en nenia rilato por ili. Sub la [illegible] de Vero okazas unuiĝo kaj apartiĝo.

Jen! ni batalas por la nuntempa Vero. Ni estas [illegible] Kiuj [illegible] la [illegible] de Revolucio. „La Semanto" [illegible]—kune kun la kamaradoj el la tuta mondo!

La Semanto. (*TANEMAKIŜA*)

種蒔く人九月號目次

革命運動と反革命運動(題言)…………

無産階級文化と美的要求…………(社論)

プロレタリヤの進行曲…………

プロレツトカルト・インタナショナルの意義…………

ロシアの社會教育…………レーニン夫人

獨逸に於けるプロレツトカルト運動…………

勞働階級教育の革命的意義…………青野季吉

死體の發掘…………麻生久

シベリア通信…………

無産階級運動の方向轉換(小牧)——小川未明の『生活の火』(光造)——ヨネ・ノグチの天井(弘二)——『少年教化』と言ふこと(孝丸)——詩人の合葬(淳三)——第一作家同盟に就て(弘二)…………

‖世界欄‖

エス・エル黨員の罪狀…………

□地方欄——聾人——赤幕…………

□エスペラント講座…………

表紙繪、カツト、及漫畫…………柳瀬正夢

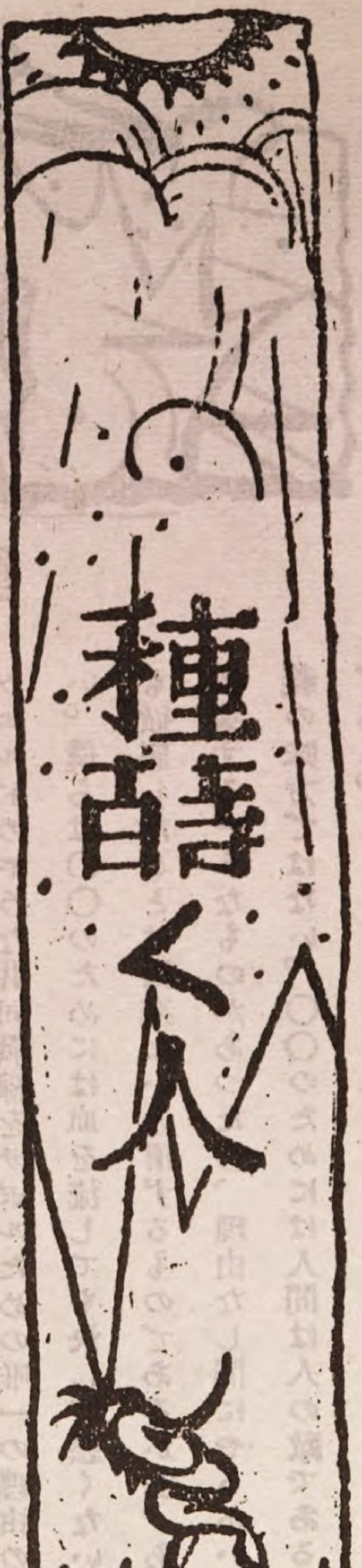
革命運動と反革命運動

多くの人は、反革命運動者はブルジョアだと許り思つてゐる。しかし決してそれ許りではない。ブルジョアが革命に反抗することは當然なことではあるが、ブルジョアに反抗すると稱するものがほんとうの社會革命に反抗することは、何んといふ情けないことだ。問題は感情か、〇〇かだ。そして、僕らは知つてゐる。〇〇でなければ駄目だ。とうていだめだ。文句なしに駄目だ。それをよく知つてゐる僕たちは、どんな口實、どんな理屈を列べられても感情は結局駄目でないか。單なる感情で、肝心の目的、〇〇を臺なしにすることは情けないではないか。藝術はつねに、問題にされてない。されてなかつた。感情に走つて、正義を正義と言はなければならぬ時に沈默をまもつてゐるし、例へ、他かどうならうと、惡いことは惡いと云はなければならない時に案外默つてゐる。それで無責任で居られるから情けない。こんどの社會革命黨事件だつてそうだ。よし、ゴーリキが何んといはふと、それが何んだ。ゴーリキのやうな正直な、そして政治味の更らにない藝術家が、感情、むしろ自己の感情ではなくて、他から刺戟された感情によつて、心配のあまり、勞農ロシアに注意することを僕らは一一信用されない。

問題はかうだ。勞農ロシアは何んといつても、世界革命の先駈だ。〇〇も出來ない人らの手でそれを倒すことは、どんな理屈を言つても、辯解にならない。ロシア革命を倒すことは、無能であつた僕らの手で、僕らの理想を闇にすることだ。ゴーリキの藝術家的心配は、どんなことがあらうとも勞農ロシアを救ひたい一心からだ。しかし正直なゴーリキが、どう言はうとも、僕らはヴアンデルヴエルドのやうな共同戰線をサボルための唯一の理由のために、わめく人たちの道具になりたくない。僕らは〇〇のためには血を流しても決して惡くないと思ふ。また、そうしなければ、どうしても徹底したことは出來ないと信ずるものであるから、あらゆる精神的感情に反對する勞農ロシアを破壞するやうなものがあつたら、理由なし間にやるがいい。僕らは〇〇の味方ではあるが、精神主義の味方ではない。〇〇のためには人間は人の敵である。それが、僕らの犯す可からざるモツトーである。

東167814

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



無產階級文化と美的要求

美的要求は他の倫理的要求や論理的要求など〻ひとしく人間にとつて必然的な要求である。これがいゝかわるいか、又それが本來的であるか否かはここの問題でない。ただ事實としてさうであることが認めれるのである。

不幸にしてわれら東洋人、ことに日本人はこの美的要求をあまりに抑へつけられて來た。之に反して倫理的要求のみが力づよく發達して、美なる一切のものは反倫理的として批難された。このことの不當なことは言を待たない。一個人の完成はそれの全體の完成でなければならない。智的のみにすぐれて賄賂をとることを恥とせざる人間や、道學者の化物の如くなつて、音樂の一片すら味ふことの出來ない人間は、人間として談るに足りない。さうして日本人はその談るに足らない人間になるべく教育されて來た。

日本人といへども相當の美的要求のある人間である。小兒の頃すでに無心のうちにその美的感覺、美的感情をよく發揮する。しかも教育は一切これらを奪ふことを命ずる。これ人間の虐殺である。

虐殺されたる人間はいづれにかその逃げ道を求めなければならない。ここに於ていはゆる美的感覺をすてて低級感覺の滿足に走るのである。大臣共の蓄妾や待合入りや、みな彼らの惡劣なる人格の發露でないものはない。むかしの漢學者や坊主共ほど不品行のものはないとひとしく、多くの日本人は必然的に美的に低劣な生活を送るべく餘儀なくされてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しかもこの形勢を打ちやぶつたのがいはゆる西洋文明であつた。西洋人の後をのみ拜して得々たる日本の上流社會はたちまちその眞似をした。しかしながら西洋にあつての美的教養はこの生活の必然から出て居る。日本にあつては物まねであるそこに矛盾の生ずるのを如何ともすべくもない。しかもその直輸入のまねの出來る上流者流は之をこのまゝ用ゐた。そこに西洋の美的生活の一片はことごとく不具の形で日本に入つて來た。即ちこれは上流者流の玩弄物として現れたのである。

音樂は如何であるか。多くのきらびやかなる衣裳をみせつけるために帝劇に向ふのが演奏會の目的である。ジンバリストを聞くといふことそのことが交際社會の必要事で、その實樂を味ふことでない。繪畫もさうである。政治もさうである。さうして建築もまた成金ぶりを示すためにのみ堂々とつくられるのである。

その結果は何であるか。あらゆる美的生活は上流者の專屬であり、さうしてその所有となつたのである。一般人は之について何の知るところもない。人が劇を見に行かんとすれば、見得る席は必然的にブルジョアジーの所有である。音樂は聞けないところで聞く外はない。しかも眞に之を觀、之を味ひ、之を享樂するものは實に一般無產者なのである。人は無產者の趣味を批難する、これは當然である、實の araiter elegantiarum は上流者にゐない。これは無產者にある。しかも無產者にはそれを味ふ機會さへない。かくして人間の虐殺は無產者に對して特に深刻である。さうして無產者に與へられし美的享樂は、內務大臣から天降つた浪花節である！

かゝる常態の下にあつて、無產者が一般美的享樂を以つて全然ブルジョア的となし、之が無產文化に不必要であると否認するに至るのは、論理上、心理上、必然なことである。しかも事實として美的文化を缺いた生活の成立せざることが明かなるが故に、ここに新たなる美的生活が必要とするのである。

美的文化とは、一口にいへば藝術の生活化である。單に藝術そのものは美的文化でない美的文化生活そのものの美化である。藝術の生活への移入と、生活そのものの藝術化である。

美的價値は定つてゐない。しかしながら心理的に美的感覺の範圍が定つてゐれば、一通りの規準が定まるわけであるこの上に立脚して、それの精神が無產階級と相通じてゐれば、新たなる美的生活が用られるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ブルジョアに發達した藝術が何の故に排斥され、何の故に享けられるかはこの標準に隨ふ外はない。われらは何の故もなくレンブラントを批難する必要はない。ベートーヴエンを殺す必要はない。否彼等の存在にしてわれらの美的體驗の一助となるならば、彼等をわれらのうちに入れるこそ至當である、愚なる人は、共産黨員がベートーヴエン祭をやつたといつて驚く、これは共産黨員に聽覺があるのを忘れた結果である美的教養が無産者に缺けてならないといふ理由はない筈である。

一般ブルジョア文化に於ける美の標準は第一にこれが末梢神經的なもので、分化的のものでなければならなかつた。エチケツトの末にはしつてそれの根本原因を忘れしところに存してゐた。ロココ式のハン雜な模樣がいかにセセツションに打ち破られたかを考へれば、ブルジョア美學の本體もまた恐るべきである。これは故にすべてものに飽きつくしてくり上げる有閑有産階級のいたづらである。

無産者文化に於ける美は實質的である。實質的といふのは、實用的といふ意味も含んでゐるが、實用でなく、單なる美的事實に於ても、實質的である。これは末梢神經的にあらずして大胎的である。創造するところの美である、敗北の美にあらずして、勝利の美である。通人の美にあらず酒落者の美にあらず、「乙な」美にあらず、即ちこれは革命的な美であり、戰士の美であり、藝術の美であり、個性の美である。美そのものの美である。

無産階級の美的文化はこの根本原理に基いての文化なるが故に生活そのものの進行と手をたづさへることを忘れない。大工場の大生産品は一つの美である。勞働者の大集團は一つの美である。羽織の丈けが一寸延びたのが美であるといふのでなくして、ハンマーを振ふ力が美である、故に茶人の小屋の美にあらずして、アパートメントの大建築が美なのであるそこに實用と美との一致である。多くの美學者はカントやシラールを學んで無關心の美や、遊戯の美をいふ、しかも現代はギヨーと共に實行の美を學ぶのである。

藝術はいかにしてこの内に入つてくるのであるか。これは藝術の愛用を個人的から公共的にうつすことによつてなされる。創作は作者の個性に任せよ、之を享樂する個人の愛用もひとしく、鑑賞者へ任せよ即ちその享樂そのものが社會的で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なければならないのである。活版の發明以前には著書は多數の人の手に入らなかつた。グーテンベルヒの効は之を多數の手にうつしたことである。同樣にして現代に於ては、博物館や、美術館が利用されるべきである。

藝術のなかで建築は實用と美と結合のいい例である。彫刻もそれに近い。劇、音樂、繪畫、これらは純然たる美的、對象であるが故にますます社會的に用ゐられるべきである。

これらの美的文化を無産者をして味はしめるにいかにすればいいのであるか。

第一に社會教育である、則ち無料又は無料に近い演奏會を開き、すぐれたる樂人のすぐれたる音樂を聞かすこと、映畫劇、皆もまたさうである、美術展覽會は現代と古代とを問はず、公開し、また、たくみなる復製品（例へば光筆書畫）を廉價にて別ち、また學校教育に於ても、音樂、文學、繪畫、その他の美的教養をすゝめること特に兒童に對して然り。

かゝる一切の努力は、一面には古來の天才をブルジョワの玩弄から脱せしめ、藝術それ自身の名譽を持たしめると共に、一面には無産階級全體の美的要求を滿足せしめ、新たなる文明をして眞に人類解放へ導くであらう、さうして世界はより新たなる景相をそこに現出すのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ロシアがあつて思想が生きた。そして、今やそのロシアが死のうとしてゐる。もしも、飢饉が何も遠い無數の兄弟たちを喰ひつくすことがあつては、その思想も、我らのそれもともに亡ぶことになる。

人類のあらゆる不幸の原因は特權の獨占といふ慘忍性であることを知つてゐる君たち、飢ゑたるロシアでは例へどうあらうとも、尙ほ且つ起つて彼等の主張を拒げないことを知つてゐる君たち、見殺すことゝ、手をかけて殺すことの間に大差のないことを知れ。アンリ・バルビュス

露國飢饉救濟金募集

一、本社は左の方法により、露國飢饉救濟金を募集します。奮つて御援助を願ひます。

一、金額には制限はありませぬ。勿論多いに越なたことはないが、十錢二十錢の少額でも構ひませぬ。

一、送金は成るべく振替（又は郵便爲替にて本社に御拂込みを願ひます。少額の場合は郵便切手（五厘切手に限る）でも差支へありませぬ。

一、御寄附に對しては、受領書を差出すか又は誌上で報告をします。姓名の公表を憚られる場合は匿名、又は其由を御附記を願ひます。

一、寄附は個人でも團體としてゞも構ひませぬ。

一、集まつた金額は便宜の爲め、大規模に露國救濟資金や物資の募集をしてゐる外國の確實な機關（例へば米國の勞農露西亞友人會』等の如き）に寄贈すること。

一、寄附金の精算と處分に就ては、追つて社外から、信用すべき數名の人を選んで監督を受けます。

東京大森新井宿　前衛社
振替東京五四七七

早ければ早い程救はれる。援助したくとも其方法を知り得なかつた君たち、前衛社の事業を成功させて下さい。種蒔き社で御寄附の御取次を喜んでいたします

東京市外代々木大山一〇四四　種蒔き社
振替東京五九三八七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

プロレタリアの進行曲

ブルジョアジイの政治的、經濟的、知識的總動員に對してはプロレタリヤも同樣の總動員をもつてこれに對抗せねばならぬ。プロレタリヤの戰線はブルジョアの戰線に應じて擴げなければならぬ。

階級支配の眞相をはつきりと見た自覺したプロレタリヤにはもはや曖昧がない。一般的文化、人類的文化の雲霧の中に吾々は階級の正體を見る。ブルジョアジイの地金を見る。最早や單なるブルジョア正義とプロレタリヤ正義との爭ひですまぬ。ブルジョアジイの教育に對してはプロレタリヤの教育を、ブルジョアジイの藝術に對してはプロレタリヤの藝術を、ブルジョアジイの道德に對してはプロレタリヤの道德を、ブルジョアジイの科學に對してはプロレタリヤの科學を對抗させ、一切の文化に階級鬪爭の序列を與へなければならぬ。こゝにプロレットカルト運動の意義がある。

階級鬪爭は社會に內在する矛盾の意識的表現である。而してこの矛盾は單に經濟生活、生產關係の矛盾に止まらぬ物質的精神的生活の凡ゆる方面に此の矛盾は蔓延し擴大してゐる。この矛盾のあるところ、そこに階級鬪爭の戰線がある。

文化は從來ブルジョアジイの獨占であつた。併しながらジルジョアジイはプロレタリヤを最も有効に支配するためには、これを教化する必要があつた。教育の普及？これはブルジョアジイのスローガンである。けれども教育の機關は凡べてブルジョアジイの手中にある。その結果ブルジョブジイの教育は單なる教育ではない。ブルジョアジイの檢閱ずみの教育である。そこではブルジョアジイの支配權に抵觸する眞理は悉く抹殺される。さうしてそれを强める虛僞が眞理の假面を裝ふて民衆を痲醉させるのである。

そこで無產階級はブルジョアジイから獨立した、無產階級自身の文化をもつてこれに對抗せねばならない。彼等は學校と寺院と教會と公會堂と新聞と雜誌と學者と宗教家と藝術家と文學者と哲學者と劇場と活動寫眞館とその他あらゆる教化の人と機關とを所有してゐる。無產階級はその凡べてに對して階級鬪爭の陣容を張らねばならぬ。こゝにプロレット・カルトの必要がある。

戰線へ！　戰線へ！　無產階級の當面の任務は戰鬪力の集中である。併しながら何の爲めの戰鬪か。勝利の第一要

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

件は戰鬪の意味を理解することである。戰鬪の意味を理解することによりて勇氣と士氣は益々あがる。結束は益々强く、決意は益々かたくなる。無產階級をして現在の社會組織に理解せしめ、階級鬪爭の意味を知悉せしめること、こゝにプロレツトカルトの任務がある。

プロレタリヤは未來の社會の主人である。而して未來の社會は、現在以上の高度の生產關係によりて維持されると同時に、現在以上に高度の文化――科學、藝術、哲學等――を必要とする。プロレタリヤがその歷史的使命をはたすためには是非それが必要である。その爲めには今日より凡ゆる方面にそれを準備せねばならぬ。より高度の社會秩序へ！より高度の文化へ！こゝにプロレツト、カルトの目的がある。

ベイコンが言つたやうに知識は力である。そこでこの知識がブルジョアジイの檢閲を通して與へられる時はブルジョアジイの力を增すことになる。プロレタリヤは自らの獨立の知識を必要とする。知識を否定するニヒリズムは結果に於てブルジョア知識を肯定すると同じだ。政治を否定するアナーキズムがブルジョア政治の肯定に墮すると同じ道理である。消極的ニヒリズムから積極的プロレタリヤの獨立知識の獲得へ。これがプロレツトカルト運動の第一歩でなければならぬ。(H生)

プロレツトカルト・インタナシヨナルの意義

これは、イーデン・アンド・シーダー・ポールの『プロレツトカルト』の主張の大意を約したものである。無產階級の解放運動は政治的、產業的、知識的の三方面からなされねばならぬとし、プロレツト・カルト・インタナシヨナルの意義を明にしたものである。(H生)

プロレツトカルトの目的は、資本主義國の一切の教育の力――學校及び大學の勢力、活動寫眞の勢力、講壇及び新聞雜誌の勢力――が勞働者を痲醉させるために協同してゐることを示すにあつた。最近までは、それはブルジョアジイの故意の政策ではなかつた。近來その傾向がだん〳〵と顯著になつた。(勿論ブルジョアジイの政策は當初からそうであつたのだがたゞ、以前は無意識的或は潛在意識的であつたのが近來資本主義の爛熟と共に意識的になつたに過ぎぬ。)此の政策はヨーロツパよりもアメリカの方が露骨であ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。アプトン・シンクレアの『ブラッス・チェッキ』を見るとその露骨さぶりが痛快に指摘してある。そして何の爲めに資本家がかういふ政策をとるかといふと賃銀奴隷制を存續し維持するために他ならぬのである。

そこで此の制度と戰ひ、これを擁護する爲めに用ゐられてゐる方法に對抗する爲めに勞働階級の獨立敎育或は革命的プロレツトカルトの必要が生ずる。ベルギーの勞働敎育局理事アンリ・ドゥマンはかう言つた『勞働者が罷業する時にはその主人に向つて、自分はもはや君の指圖では働かぬといふ』勞働者が自己の政黨に投票する時には、自分は最早や君の指圖では投票せぬと言ふ。勞働者が自己の學校を設けると、自分にもはや君の指圖では考へぬと言ふ。敎育に對する勞働者の挑戰は三者中で最も根本的なものである。

ド・マンの言はその本質に於て勞働者の前進の道は共產黨の政治的行動、勞働團體の直接行動、勞働階級の獨立敎育の三つであるといふにある。この三つは何れも缺くべからざるもので吾々はその何れが最も大切だとも言へない。たゞこの三つが調子を揃へて進んでゆくことが肝腎である。組織された勞働の活動は、これを有效ならしむる爲めには革命的理知の指導を必要とする。革命的理知は組織された勞働の實質的後援を受けねばならぬ。政黨はこの三方面の活動の中心勢力となる日和見的社會黨のインタナショナルに對しては無產階級の政黨、共產黨第三インタナショナルの必要があつた、黃色勞働組合インタナショナルに對しては赤色勞働組合インタナショナルの對抗が必要であつた。ブルジョア・カルトの世界的勢力に對しては赤色プロレツトカルト・インタナショナルを對抗させねばならぬ。

プロレツト・カルトの革命前期に於ける第一の目的は一切をあげて戰鬪的文化に集中することである。無私公平な一般文化ではなくて、傾向的、革命的文化である。階級爭鬪の觀念に基く戰鬪文化である。

革命前期の諸國に於てはプロレツトカルトは、資本主義崩解の時に無產階級の獨裁を打ち樹てるべき無產階級前衞の理知を團結させ明徹にし、資本主義を再建せんとする反動運動に十分の對抗ができるやうな準備をしてをかねばならぬ。カウツキー流の解釋を排斥する近世の左翼マルクス主義者は拱手して資本主義の倒壞を待つてはゐない。革命は革命的勞働者の創造的意志と理知とに待つものであることを認める。

プロレタリヤ革命の第一期が既に成就されたロシヤに於

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てはプロレツトカルトは既に國家の教育制度となつてゐるそれはブルジョアカルトが資本主義國の教育制度となつてゐると同じである。眞に革命された教育は革命された國家にのみ可能である。併しそれまでは萬國のプロレツトカルチユリスは團結してブルジョアカルトと戰ひ、勞働階級をブルジョアカルトの呪から救ひ彼等の歴史的使命を自覺させねばならぬ。

勞働者は強い。若し彼等が壓制に堪へてゐるとすればそれは彼等が催眠されてゐるからだ。必要なことは彼等を催眠術の眠から喚びさますことだ。赤色プロレツトカルト・インタナショナルはその爲めに必要なのである。

ロシヤの社會教育

レーニン夫人

これは一九一八年八月モスコウで開かれた全露國民教育大會に於けるウリヤノワ(レーニン夫人)の演説の抄譯である。少々古いものであるが、プロレツトカルトの問題について少からぬ暗示を含んでゐると思ふから轉載する次第である。但し學校教育に關する部分は社會主義國家に特有の問題であるから社會教育に關する部分だけに止めることにした。(H生)

大人の教育と密接に關聯してゐるものは討論、講演、活動寫眞、集會、遠足、博物館等でありまず私はこれ等の問題についてはごく簡單に二三注意すべき事項を申上げてをきます。

討論、朗讀、講演等は、これを聞きに來た大衆の直接の要求に應ずるやうなものでなければ聽衆の注意をひくことができません。講演の題目についてはあらかじめ聽衆に徹底的に了解させておかねばなりません。講演の概要は勿論いつでも印刷して渡すやうにしなければなりません。

活動寫眞は、學校と同じやうに勞働者を解放させることもできれば、彼等を奴隷にすることもできる道具であります。ブルジョア制度の時代には活動寫眞は大衆にブルジョア的の觀念と感情とを植ゑつける有力な手段となつてをりました。目下公衆教育人民委員會には活動寫眞部が設けてあります。さうして、一年六百万ルーブルを支出して、ブルジョア觀念、ブルジョア感情とは異つたもの、即ち——人間の協同の感情、インタナショナリズムの感情、國民大

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衆のために凡ゆる生産を組織する觀念等――を暗示するやうなフィルムの製作に從つてをります。追つて各州の活動寫眞館はこういふフィルムを使ふことになりませうが今日のところではまだ適當なフィルムができてをりません。

博物館では、博物學、人種學、衛生學等に關しては大進歩を見ました。從來社會部といふものは博物館にありませんでしたが、今ではモスコウの社會主義アカデミイに社會博物館ができまして、そこには軍國主義や、集中や、製造業等に關した美術的な色刷の圖表がとりそろへてありますこの博物館の陳列目錄は共產黨員の委員によりて整理されてをります。この圖表は追つて色刷版に複製して各州の博物館へも廻す筈になつてをります。

圖書館は大人の學校と同樣に重要なものであります。それで圖書館の設置の爲めには最も莫大な費用をかけてをります。如何なる團體にも如何なる村落にも今日では一つゞつの圖書館が設けてあります。併し此等の圖書館は貧弱なもので讀者もまだ滿足とは申されません。書物が少いので非常な節約をしなければならん狀態です。しかし行く行くは大規模の中央圖書館を設けて全國を圖書館網で蔽ふやうにし、アメリカ式の巡廻圖書館も試みたいと思つてをります。

圖書館について最も大切な點は書物の選擇です。今日では多の人は書物を買ふのに裝釘や表題を見て選擇してをるか或は本屋のすゝめるまゝにまかせてをります。又敎育の相當ある人でも澤山ある本の中でどれを見ていゝか一寸見當がつきません。そこで讀書家の便宜をはかつて「標準圖書目錄」をこしらへる必要があります。敎育人民委員會では特別の專門家委員を設け此ての目錄を製作してをります又地方の圖書館の便宜を計るために書籍供給部が敎育人民委員會に設けてあります。

大人の敎育に關する藝術の價値は今更申し上げるまでもありません。敎育人民委員會には音樂、演劇、美術等の特別の部門が設けてありましてそれぞれ活動してをります。

最後に公會堂について一言してをきます。ロシヤではこれまで公會堂は單なる遊び場になつて居たが今後はこれを勞働大衆の精神生活の中心にし、これを敎會の代りに人民の精神的要求を滿すものとしなければなりません云々。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獨逸に於けるプロレッツトカルト運動

獨逸の共産主義者は獨立勞働階級教育の重大なることを認めこれに對する眞の原理を發見し以て處期の目的にそう樣に努力してゐる。既にあるものは一九一八年秋第一回全露プロレツトカルト大會後モスコーやペテログラードに密接なる關係を結ぶに至つた。彼等は先づ革命前のプロレツトカルトと革命後のプロレツトカルトとの、相違を認めここに創案委員會を設けた。この委員會の理想とする處を左に略述して見る。

(一)獨逸に於ける階級闘争の益々熾烈を極むるを以てプロレタリアの諸勢力は凡ゆる可能的方面に動員せねばならぬ。かくしてこそ勞働者は反革命に對して突貫することを得る。

(二)新聞・學校・活動寫眞・教會並びに文學等所謂文化的設備は凡てブルジョア武庫の武器であつてブルジョアは是れを用ゐて勞働者の革命的動力を痲痺させる。從てブルジョア觀念は組織的勞働者の間にすらはびこる。

(三)プロレタリアはブルジョアジイに對し同一の武器を用ゐねばならぬそしてブルジョア文化の勢力に對してプロタリレア文化の戰線を張らねばならぬ。勞働者勝利の日は大衆が觀念上にも資本主義の有害な精神的影響から免れ得るに從つて近づくのだ。

(四)權力獲得のためには政治問題を熟知せねばならぬ。然らざればブルジョア、インテレクチュアルはあらゆる方法で革命を妨害し得るだらう。權力を正當に用ひるためには準備的教育事業が肝腎だ。

(五)社會革命なるものは唯に經濟上の一新方法、ソビエツト制度又は無産階級の獨裁を含むのみならず、プロレタリアに基礎を置いた新文化の建設・從つて人類の最初の普遍的文化をも包含するものだ。この文化の始まりは已に明である。其は教育、倫理、新聞・藝術及科學等公私生活の凡ての革命だこの新文化の創始者としてのプロレタリアの直接の業とする處はプロレツトカルトの統一及び普及の爲めにプロレタリアの創造的勢力を集中せしめんとするにある。

(六)獨逸には一つの集中的プロレツトカルト同盟の必要がある。これは組織的勞働者に支持せられ、獨立勞働階級

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教育促進に從事する凡ゆる團體が協同し統一するものなるを要する。プロレツトカルトの共同的綱領を草するべく出來るだけ早く會議を招集されねばならぬ。

げに千百の理論も一の實行に如かずである。幸ひ獨逸では實際方面にも滿足すべきものである。伯林にレーテブンドソヴイエツト同盟なるものがあつて自ら出版業を經營してゐるが重なる活動は教育に關するものだ。是れにはレーテシユーレ即ちソヴイエツト學校がありソヴイエツト教科書がある例へば一つをとりて見る。フリツツ・フリツケ「階級鬪爭に於けるソビエツト文化」の序文(一九二十年十月)は一つの立派なプロレツトカルトのリーフレツトをなすものだ。

『ブルジョアの諸政黨員ブルジョア教育者共は教育の方面から云ふと女郎屋の亭主の樣なものだ、彼等はブルジョア文化の一切の成分から出來上つたスチユールは全く勞働者の求むるものに違ひないと固く信じて居る。……併しプロレツトカルトの種々の設備ではもはや漠然とした「一般知識」と言つた樣なものを勞働者の心に詰め込まうとは思はない、必要な知識は勞働者をして共產主義を實現せしむるに足るもの是れだ。……一切合切階級鬪爭の配景で現はさねばならぬ。……かるが故にソビエツト學校ではそのやる仕事は從來成人學校であつたものとは大變異なる。』

このソビエツト文化の目的を左に略述する(同書に據る)

(イ)資本主義制度内にあつて勞働者に開放された權力の一切の地位をうまず倦ゆまず占領する樣彼等を訓練すること

(ロ)生產並びに管理の事業に對し勞働者の責任感を喚起し以て新社會秩序を保つ樣訓練すること

(ハ)プロレタリア、インテリゲンツイアを發達させること但しこれは特權的勞働階級ケーストを造るものであつて階級鬪爭を有利ならしむる樣に有力なる勞働者から成り立つものだ、革命後にはこのプロレタリアインテリゲンツイアは革命の成果をして確固たらしむべき事業に身を投ずるを得るだらう。(O生)

勞働階級教育の革命的意義

青野季吉

マルクスが「資本」第一卷中で、勞働階級教育の革命的意

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

義について述べてゐるところは、いろ〳〵な意味で、吾々にとつては大切な個所である。彼は大體次のやうな説明と豫斷を試みてゐる。

「近代工業は、現在の生産形態を、最後のものとは斷じて見做してゐない。近代工業以前の諸の生産形態が本質において保守的だつたに反して、近代的工業の技術的基礎は革命的である。近代工業は、機械や、化學應用や、その他の諸の方法で、絶えず、生産の技術的基礎に變化を齎らし、これと共に、勞働者の機能や、勞働過程の社會的組織の上に變化を齎らしてゐる。更にまた、その技術上の變化によつて、社會内の分業に革命を起し、資本と勞働者の大量を生産の一部門から他の部門へ、絶えず移動させてゐる。こんな具合に、近代工業は、その本來の性質として、勞働及び勞働者の變化性・流動性・移動性を必要とするのであるが、しかし一方に於いて、資本家形態の下にあつて、古き硬化した分業を、そのまゝ再現させてゐるのである。近代工業の技術的必要と、資本家形態に内在する社會的性質とのこの絶對的な矛盾が、如何に勞働者の地位の安定を奪つてゐるか、如何に勞働者の生存を脅かしてゐるかは……我々の現に目撃してゐるところである。この結果奇怪極まる産業豫備軍が生じ、生産の無政府狀態を齎らしてゐるのである。……しかしこれは、近代工業の消極的な方面である。一方積極的な方面において、近代工業は、勞働の變化性、一勞働者の諸の勞働に對する適合性、一勞働者の諸才能の最大發展を生産の根本法則として認むるの必要を社會に課してゐるのである。されば、この法則に隨つた生産形態を採用することは社會にとつて生死の問題となつてゐるのである。近代工業は實に、死の脅威を以つて、社會を强要し、つまらぬ一作業を繰返して行ひ片輪な人間となつてゐる今日の部分勞働者の代りに、諸の勞働に適し、何時でも生産の變化に應じ得る完全に發達した個人を採用せんことを迫つてゐるのである。この完全に發達した個人の行ふ諸の社會的職能は、彼の天賦の能力のそれだけの自由發展に外ならぬのである。

「この革命に向つて、從來既に踏み出した自發的な初一歩は、工業及び農業諸學校職業學校の設立である。これらの學校では勞働者の子弟が、技術學及び諸の技術要具の使用法を、いさゝか習得することゝなつたのである。工場法の實施を通じて、勞働階級が資本家からもぎ取つた僅かな讓歩は、工場勞働と初等教育との結合だけであるが勞働階級

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が權力を得た曉は、理論的・實際な技術教育が、勞働階級學校において、その當然占む可き地位を占むるに到る可きは、疑ひを容るゝ餘地がない。この技術的教育の最後の到着點は、古き硬化した分業の破棄にある、かゝる革命的酵母が、資本主義生産形態に對して、又その形態相應の勞働者の經濟的地位に對して、實に正反對に立つものであることも亦、疑ひを容れる餘地がない。しかし乍ら、一定の生産形態に内在する矛盾の歴史的發展こそ、由つて以つてその生産形態が破壞され、新形態の樹立され得る唯一の道である。…………」

ジョーヂ、ソレルも云つてゐるやうに、マルクスの右の考察は、實にすばらしいもので、技術教育の革命的使命をこれ以上雄辯に語ることは出來ない。勞働階級が資本家階級に對する長き鬪爭は、その本來において近代工業の命令する勞働の多面性、流動性、移動性、即ち言ひ換ふれば、人間性の解放にあることは、マルクスの力强い文字の中に虹の如く描き出されてゐる。而して、資本主義社會内に於けるプロレタリヤのカルチュアーとして多面的の技術教育は、一方に分業に依る賃銀奴隷を破壞し、他方に近代工業の命令する新生産形態を生み出す、革命的要素であることが指摘されてゐるのである。

勿論生産技術上に於けるこのカルチュアーは、それほど重大なる革命的意義を有つてゐるものであるが、それは所謂經濟的の革命に於いての事である。平たく言ひ換ふれば歩一歩と資本家社會を崩壞せしめ、その崩壞の進度と同じ歩調で、新生産形態へ向つて準備する革命に於ての爭である。この經濟的準備以外に、プロレタリヤ革命を遂げぬ萬國の勞働階級は、他の重大なる準備を持つてゐることは云ふまでもない。その點はこゝには觸れぬことゝし、たゞ革命的サンデカリズムが、その準備を重點として、資本家社會内に於けるプロレタリアのカルチュアに於いて有力なる方法を提示してゐることを附言しておくに止める。

如上の勞働階級の技術教育に關するマルクスの見解は、近代工業の必然性を基礎として、勞働階級の生産支配への進行を説いたものであるが、勞働階級のその生産技術上のカルチュアはプロレタリア革命の偉大なる關門を通過した勞農露國が、鋭意促進しつゝあるものである。勞農露國の革命の完成は、かゝつてその所謂勞働者の「リエヂユケーション」(再教育)にあると云つてもよい。即ち、プロレツトカルトが、現在の過程に於いて、生産技術のカルチュア

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を主眼としてゐるのは極めて自然なことである。而して光輝あるプロレタリアの文化は、マルクスの所謂完全に發達した個人の行ふ諸の社會的職能は、彼の天賦の能力のそれだけの自由發展に外ならぬ」ところから、燦爛として輝き出づるものでなければならない。

一九二〇年三月の第三回全露組合大會に提出した報告書中に、トロツキーはかう云つてゐる、

「社會主義社會の樹立は、即ち、新しき基礎に立つ勞働者の組織、新しき基礎に對する勞働者の適合・生産力增大を目的とする勞働者の再教育を意味する。勞働階級は、その前衛の指導の下に、自分自身を再教育しなければならないこれを理解出來ぬものは、社會主義社會建設のイロハを知らぬものである。

「然らば、勞働者再教育に關して、吾々は如何なる方法を執るか？ それは、ブルジョアの教育（對勞働者）に比してずつと廣汎なものであり、ずつと誠實な、正直な、あからさまなものである、凡ての僞善や虛僞を脫したものである。ブルジョアは、勞働者に向つてその勞働は自由なものだと說くが、實際において、勞働者は社會的に自由でなく依然使役されてゐるのだ。何故なれば、ブルジョア社會では、大多數のものが、少數のもの丶爲めに、勞働してゐるのだからである。之に反して、吾々は勞働者自身の利益の爲めに、勞働を組織する。だから、勞働組織の社會的特性を僞つたり、それに假面をつけたりする何等の必要がない吾々は、露骨に、大衆に對して、諸君は、激烈な勞働、峻嚴な規律・正確な時間嚴守を以てする以外には、此社會主義國を光輝ある地位に擧げることは出來ないと告げる…………。

「ブルジョアの主たる精神的武器は宗教である。然るに吾々にあつては、主たる精神的武器は、事實の眞相の正しき說明、歷史的專門的な知識の普及、ソヴィエット權力の下にある勞働力の利用を基礎とした統一的經濟政策に對する勞働者の發議である……」

勞農露國の場合は、帝國主義戰爭の爲めに蒙つた經濟的破壞を治療しつ丶、一方に社會主義的生産を建設して行くといふ、極めて困難な場合であつて、トロツキーのこの報告は僅かに難局を脫れた際のものであるから、義務勞働の意義に力點をおいてゐるけれども、生産關係に對する勞働者の全知識の要求は、その根本の約束としてかなり力强く表明されてゐる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會主義社會の建設は、經濟的に、生産力の増大を基礎とする。生産力の増大は、近代工業の自然法則の下において、勞働者の多面性、流動性の發揮・人間性の發揚を俟つてゞなければ期待することは出來ない。而してこの多面性の發展は、生産技術上における勞働者カルチュアを以つてして、機械奴隷たる今日の狀態から解放されて始めて、望まれることである。ルツトガーも云ふやうに(「無産階級敎育の新方法」中に)「常に頭に容れておかねばならぬことはカルチュアは一般的であり、多面的であらねばならぬと云ふ事、而して、生産に追隨せず生産の推進となるものでなければならぬと云ふ事である。」かゝるカルチュアがあつてのみ、生産の増大を齎らすことが出來、X會社會の基礎を築くことが出來るのである。

今や、前プロレタリヤ革命の諸國家の勞働階級においても、プロレツトカルトが重大視されて來てゐる。勿論、各國勞働階級の置かれた現在の階級に於て、プロレツトカルトの方法を異にしてゐるは言を俟たないが、その經濟上の必然に於ては、マルクスによつて力強く說かれ、勞農露國に於いて現に實驗的に强調されてゐる道を一歩も離れたものではあり得ない。(終)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

死體の發掘

麻生　久

（一）

大正〇年の秋、北海道のU炭山のK坑で瓦斯が爆發し、百幾十人の坑夫が埋められてからもう一週間になる。此間毎日眞黑に燒け爛れて誰れとも判明しない坑夫の死體が次ぎから次ぎへと掘り出された。

北海道の炭山と云へば世界に有名な山だ、そのU炭山のうちでもK坑は炭質に於ても出炭に於ても群を拔いてゐた。當時好景氣の時代で會社は狂氣の如く出炭率を高めるに熱中してゐた。少々の犧牲、坑夫が五人や三人死んで其手當を出した處でそんな事は問題でない。當時既にK坑に就ては一般に不安な空氣が漲つてゐた。そして誰れ云ふとなく、

『臭いぞ、出るんぢやねえか』

とつぶやく聲が坑夫の口から口へと傳へられてゐたが、死んで見なければ死ぬ事さへ感じない人間の事だ、それに又每日の食ふ事に追はれてゐる坑夫の事だ、K坑には相變らず坑夫の出入が激しく、其暗い神秘なK坑の口からは毎日山の樣に黑い石炭が吐き出されてゐた。其間に鑛山監督所から役人が來て炭山を見廻つたが、彼の姿は闇から闇へと消え失せて、K坑の入口の扉は相變らず閉されなかつた。彼は大方K坑の口を閉す代りに紙幣の束で自分の口を聲が出ない樣に固く閉ざして行つたのだらう。

（二）

或る夕方、秋の森林に圍まれた炭山の西の山に眞赤な北國の火炎の樣な太陽が沈みかけ、風もなく音もない樣な靜寂とした夕方、轟然たる瓦斯爆發の物凄い音響が沈みかけた太陽をゆら〳〵と搖すつた。太陽はU炭山をとり圍む連山を其根元から搖るがせてゆく、次ぎから次ぎへの轟々たる爆音に搖られて一度に山の下へと落ちて仕舞つた。澄んだ空の下、次第に薄闇に閉されて行く炭山には形容し難い悲痛な呻きが谷から谷へ、町から町へ、みじめに立ち並んだ坑夫の長屋から

長屋へと電流の様に流れて行つた。

『瓦斯だ！瓦斯だ！瓦斯が出たんだ！』

數万の人間は轟然たる爆音と共に、町人は其店先きで、女房は其長屋で、坑夫は地の底で、役員は事務所で、一度に同時に飛び上つた。持つてゐる物を投げ棄てた。夢中になつてあてもなく駈け出した。そして口々に叫んだ。

『瓦斯だ！畜生！瓦斯だ！會社の野郎！』

憤怒、不安、悲痛、罵倒、恐怖、呻吟、呪咀人間の有する感情の悪に屬する部分が結晶して、凝り固まつて渦を巻いて山も坂も谷も町もころげ廻り始めた。人間は夢唯中で駈けてゐた。行く者、歸る者、横ぎる者、突き當る者、人の海だ。そしてその海が叫んでゐる。

『何處だ、何處だ』

『あつちだ』

『T坑か』

『うんさうだ』

『K坑か』

『うんさうだ』

『どつちだ』

『うんさうだ』

裸足で駈け出して來る女、髪はふり亂し、眼は血走り何か叫んでゐる、子供は泣き乍ら、犬は吠え乍ら、只駈け出してゐる。

『大丈夫かね……』

と泣き聲で駈けて行く女が叫ぶ、すれ違つた男がつきかへす。

『分らねえ、そんな事が……大變だ。瓦斯だ！瓦斯だ！』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

爆發の音はそれでも次第に力弱く、絶え〲になつて來た。併し乍ら人間の叫喚は、太古の森林に圍まれたU炭山が次第に濃くなつて來る夜の闇に包まれるに從つて鋭どく深く悲痛の色を帶びて來た。
其叫喚の中には坑夫の絶望と呪ひと憤怒の情がこもつてゐた。そして夫れは刻一刻其深さを增して行つた、虐げられしぼり取られ踏み躙られ、それでも飽き足らずに其生命を奪ひ去られる彼等の運命、のがれ去る事の出來ない悲しき其運命而かも平常は欝積する其運命に對して反抗する事さへ出來ぬ其運命に對する反逆と呪咀とが一時に爆發したのだ、悲痛と云ふべきか殘酷と云ふべきか此反逆の底には尙ほ抵抗し難い悲しみが宿されてゐる。死んだものは死に損、殺された者は殺され損、會社は其殘酷の酬いを僅かな金で追つ拂らう。彼等の憤怒も呪咀も反逆も遂には泡沫の如く消えて仕舞ふであらう。そして彼等の生活の綱をしかと掌握する會社の前に血の涙をしぼり乍ら屈伏し去らねばならぬであらう。
騷然たるU炭山の闇を貫ぬく叫喚の底には、悲痛な重苦しい坑夫の運命に對する堪えがたき、併し意識されぬ悲しみが沈んでゐた。
此時突如としてK坑の近くの山腹にあるT區長屋の或る屋根の上に白い大きな旗が揚げられた。其旗は暮れて行く薄闇の中に生き〲と飜へつた。遠くからは唯白い色のみが見えた。だが近くの者は其旗の中に赤色の血の如き色を以て『殺人會社を葬れ』と書いてあるのを見た。文字の赤色は恰かも人間の血潮のひたゝるが如く其端は流れて物凄ごくにじんでゐた。其旗が揭げられると共に何處からともなく、坑夫の否人間の靈魂其ものが破裂した如くに『勞働者萬歲』の叫喚が起つて森林にこだました。死にかけた絶望が再び希望に向つて呼吸を吹き返した如く思はれた。

（三）

爆發があつて一週間過ぎた夕方、北國の冬に近い秋の夕の燃ゆる樣な太陽が沈んで淡い月がU炭山の上を照らしてゐた
其時一つの警報か坑夫の長屋から長屋に傳はつた。
『死骸が掘り出された』
『死骸が掘り出された』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫を兄を弟を子を失つた坑夫の家は勿論、其他の物も皆家から駈け出して、あそこに一と固まり、こゝに一と固まりかたまつて噂をしあつた。

『今日は誰れのうちだらう』

『一人だらうか二人だらうか』

『昨日も掘り出されたが眞黑にこげて居て分らなかつた』

『今日のはどうだらう』

彼等は噂をし乍ら半ば不安にとざゝれてＫ坑の方に押し寄せて行つた。

＊　　＊　　＊　　＊　　＊

Ｋ坑の前の廣場に坑夫の死骸が横たへられてゐた。死骸の下には莚が敷かれてゐた。身體は眞黑にこげ爛れ着てゐた着物はぼろ〳〵になつて土にまみれてゐた。鼻は何處にか飛び去り顏の相好は全くくづれ果てゝこげた皮膚は破れ見る者は悉く顏をそむけた。上にかけた莚の下方から其形を失した眞黑な足がはみ出し、手は其掌に一握の土を固く握つた儘ちゞかんでゐる。頭髮は燒けて爛れ、頭骸骨が其下から覗いてゐる。月は靜かに此醜い死骸を照らした。

坑夫、女房、子供、役人はひしめき乍ら其周圍をとり圍んだ。そして口々に叫んでゐる。だが此死骸が果して誰であるか容易に判明しなかつた。すると突然一人の中年增の女房が飛び出した。其顏は連日の不安にやつれ眼はきよと〳〵して血走つてゐる。彼女は飛び出すと死骸の上を覗き込み其莚をはねのけて狂氣の樣に其死骸を調べてゐた。すると不意に彼女は妙な云ふに云へぬ叫び聲をあげると、がばと燒け爛れて腐れかけた死骸の上に身を投げて夫れを抱いた。

『私のだ。夫だ。私のだ………』

群集は一度にどよめき立つた。

『誰れだ』

『誰れだ。誰れだ。』

『C區のGだ、Gのうちの嬶だ』

其時又群集の中から六つ位な小供が泣き叫び乍ら飛び出して、死骸に取りすがつて狂氣の樣に泣いてゐる母親に取りすがつた。群集は此悲痛な光景に又どよめいた、

『ぶち殺せ、役人の奴等どこにうせる』

『殺人會社だ。ぶちこはせ』

『ダイナマイトだ』

坑夫の二三人が飛び出した。そして死骸に取りすがつてゐる女房に何か云つてのかせ樣とした。すると女房は血相を變へて叫んだ。

『何をするんだ、何をしやがるんだ。俺のうちのを返せ、もとの樣にして返せ』

彼女はわつと又泣き伏した。

群集の中に又どよめきが起つた。と何處からともなく歡聲が揚がつた。するとそこに旗を押し立てた一群の坑夫が現れた。其旗は瓦斯爆發の夜T區の坑夫長屋の屋根に押し立てられ此一週間の間夜を日に次いで奮闘したJ坑夫記念の旗であつた。

何處からともなく一つの叫喚が起つた。群集は一齊に和した。

『勞働者萬歲　殺人會社を葬れ』

警官は叫んだ。

『靜かにしろ』

群集は直ちに答へた。

『馬鹿野郎、殺人會社の犬を葬れ』

『死骸を事務所に運べ』

と組合の幹部が叫んだ。

『運べ！運べ！戸板は何處だ！』

組合旗は最先きに死骸のそばにつき立てられた。戸板が死骸の傍に運ばれた。

『何をする。死骸をどうする』

と數人の警官が叫び乍ら飛び出てそれを止めやうとした。

『何だ、馬鹿野郎ぶち殺すぞ』

『そ奴から先きにやつつけろ』

坑夫と警官との間に格鬪が始まつた。だが警官は犬の様に群集の外につき出された。死骸は組合の幹部によつて戸板の上に乘せられた。すると女房は必死に叫んだ。

『俺のうちを何處に持つて行くんだ。これは俺のだ、俺のだ』

『仇をうちに行くのだ。Ｇの仇を討ちに行くのだ。』

と誰か叫んだ。

『嬶も一緒にのせて行け』

と又誰かゞ叫んだ

『さうだ　子供も一緒にのつけろ』

黒くこげた坑夫の死骸とそれに取りすがる女房と子供をのせた戸板が數十人の坑夫に依つて肩の上に擔ぎ上げられた。

組合旗が其前に立つた。

言ふべからざるどよめきの感激の波が群集に傳はつた。

『勞働者萬歳殺人會社を葬れたゝきこはせ』群集は旗と死骸と女房と子供とを載せて戸板を眞先きにして事務所の方へ動き出した。森林の上にかゝつてゐる月が此憐れな悲痛な群集の上を明かるく照らした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

シベリア通信

一、在留邦人保護

シベリア駐屯軍撤退を決定聲明した今日、尙一部論者の間には、尼港事件の後仕末だとか、在留邦人の生命財産だとかいふ者があるがそりや一體どんな事だか知つて居るかしら。一體沿海州あたりには、所謂島原、天草の娘子軍と其の附屬品及び僅小の小賣商人が大部分だ。一例をとつて見ればスパスカヤには約三百名の邦人が在留してゐるが、其内七割は所謂娘子軍で其他の三は寫眞屋、雜貨屋、料理飲食店で、それも殆んどみな駐屯軍相手のものゝみだ。南滿や北滿あたりから流れて來た賭博を職とする者も相當入り込んで居る。娘子軍連はスパスカヤ駐屯の二ケ聯隊、旅團司令部を目標に生活してゐるんだが、今撤兵聲明を見て初めて驚ろいてゐる。多數の者は日々會合など開いて善後策考究に日も足らないといふ有様だ。一部の者は代表を選擧して浦鹽に派遣して當路者に事情を訴へ或はウラジホ居留民大會と連絡をとつて撤兵後の萬全を策してゐる。駐屯軍が喊境道方面に新らたにつくと聞くやもう同方面への新運動など開始せられてゐるといふ有様だ。

如何に人道主義的ブルヂョアでもこんな話なんか聞いたら大抵尻込みするだらう。一寸序だからポクラニチナヤの沈衰状態を覗き込んでみやうか。ポクラニチナヤだつて撤兵でどうしたつて不景氣風が吹き荒んで居る。居留民大會なども開催してゐる。代表なんか派遣して他方面との連絡をとる。しかし居留民代表等の仕事は一體どんなことだらう。彼等は各方面と聯絡を取る、然りだ、だがそれは支那人の姿を物色周旋して歩いてゐるのだ。居留民大會なんかこんな者共の寄り集りであるのだ。

こんな居留民の保護や生命財産の保護はやつぱり吾々には出來ない。其蔭で甘い甘い汁を吸ひ込む大富豪が鎭座ましますのでゞもなければ、出來得る

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

藝當ではない。

二、頭道溝馬賊事件

第二世間島事件として頭道溝方面に於て馬賊が盛んな掠奪をやらかした。日本政府では又盛んに支那側の不取締を難じてゐる。が、しかし一體馬賊は支那人かい。頭道溝事件の馬賊の參謀は内地人だといふ話もあるし、百七十名ばかりの總員中十二名は朝鮮人だといふことだ。と聞いたら俺には何が何だか分り難くなつて來た　又領事裁判權を楯に取つて、武器、彈藥を誰か供給したとか、しないとかいふ話もある事件の發生地は支那なんだから責任は支那にあるんだが、被害朝鮮人だけ日本人で、加害朝鮮人は支那人だなど〻いふ二重國籍朝鮮人中都合のよい人間ばかり事件の當事者であるもおかしなものだ。朝鮮人は兎に角い〻ダシが取れるさうだ、お人よしの朝鮮人よ、しつかり頼みますぜ。

三、赤破擡頭

西比利亞撤兵が愈々確實になると、各地の赤バルチザンが各地に擡頭して來たニコリスク方面の某國が語る所によれば、日本軍撤退と同時にニコリスクを占領し、續いて浦鹽を襲ひて確實に實權をその掌中に集中せしむる計畫ださうだ。各方面の連絡がとれて準備はもう充分整つてゐると云ふてゐる。

それと連絡を有するウスリー北方面にある赤バルチザンは目下南下の準備中で撤兵と同時に此地方一體を完全に占領する豫定ださうだ。

スパスカヤ方面にも、赤バルチザンが十二日に出現した。スパスカヤの駐屯軍と露國民警の手とによつて平靜に歸つたと云ふてゐるが、評によると衛

百名以上のバルチザンが同地方に機を覘つてゐるといふことだ。

又十二日夜ボルチヤに於て白バルチザンが赤バルチザン守備の停車場を襲撃して小戰鬪が開始せられた。が無事白の敗北となつて引上げたさうだ。

チタとイルクーツクの間の何んとか云ふ所でも赤と白との交戰があつたと兎に角ザバイカル地方一體に危險信號が下ろされたわけになつた。が危險信號の効果は誰が受取るであらうか。日本軍撤兵後のシベリヤは誰の天下になるかは、とうの昔から明瞭に吾々の前に示されてゐる事だ。赤白バルチザンの擡頭して來た今日『ウランゲル將軍一派は模範革命軍を起して勞農政府を倒さんと企みつ〻あり其他革命運動再び計畫されその中心はニコラス大公なり』との報導があつた。こうして多くの面白い場面は展開せられる事になつた

批評

無産階級運動の方向轉換

山川均氏の「無産階級運動の方向轉換」(前衛八月號所載)を是非讀んでもらひたい。そして、それを藝術運動の方面にもあてはめて、しつかり考へて見てもらひたい。

「吾々は、大衆を動かすことを學ばねばならぬ。そして大衆を動かす唯一つの道は、吾々の當面の運動が大衆の實際の要求に觸れてゐることである。

……………………………………。

之が爲めには、吾々は、あれも詰らぬ之も詰らぬといふ消極的、回避的、懷疑的、虚無主義的の態度を棄てて、積極的、戰鬪的、實際的とならねばならぬ。」

以上の言葉は無産階級の藝術運動にあてはまらぬものだらうか。一言にいふと、山川氏の理論は右翼のオポルチュニズム及び形而上の左翼のイノポルチユニズムの警告である。たゞ今日までの日本の藝術運動は他の運動ほど純化されてゐるか、どうかは別問題として、僕はここに山川氏の論文を部分的に紹介して、本質を誤るやうな誤解をされることをおそれるために、是非全體を隨分抹殺されてゐるが、讀んでもらひたいことを、御すすめする。

山川氏の論文は日本獨特の立場から、日本の無産階級の今後すゝむ可き道を明かにしたものだ。僕らは皆、僕らの目的だけはちやんと知つてゐる。僕らいづれの方面に於ても、がや〳〵して許りゐるところではない。實際的に進む可き道をもう少しはつきり見ることだ。この一文には何人も眼を通さなければならない。(小牧)

「生活の火」(小川未明著)

これは文字通りに未明氏の生活の火である。彼の生命の燃燒の焔である。それはブルジョア資本主義の社會の蛆虫を一つ一つ燒き殺すスピリツトの烈火である。吾々の無産階級乃至生産階級の現下の荒廢と疲弊とは、ブルジョア資本主義の蛆虫の存在に依つて釀成されるのである。生産階級がその正當な生活を實現する爲めには、このブルジョア

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

資本主義の蛆虫を燃き殺すより急なるものはない。

僕はこの本を讀みながら、不圖、このブルジョアの蛆虫の培養に努めた貴族生活の中に人と爲つたトルストイの生活を想ひ出した。

——トルストイはその苦悶の生活の晩年に於て、とうとうこの蛆虫培養の貴族生活を續けることに我慢が出來なくなつて、その虛僞の生活に愛想をつかして、鍬を取つて野に出でた。——鍬を持つて自身の手に依つて耕作する事、それが人間の最も正しい健全な生活であると信じたからである。トルストイはブルジョア意識の不正な不健全な生活を、文章を以て批評し、罵倒し切れなくなつて、身を以てそれを批評し、罵倒したのである。そこにトルストイの誠實があるとされる彼は貴族生活の末路を單に文章の上だけでなく、身を以て世界に示した第一人者であつた。

僕は又、トルストイの事から、有嶋武郎氏の昨今の生活に想ひ及んだ。現代日本の貴族の中に後ればせながら、一人の誠實なトルストイを持つ事は、慥かに日本の誇りとすべきである。嘗て貴族は現下の資本主義文明を創造し、それを完成する事に熱中した。そしてそれが完成された今それの末路を民衆に示し、社會に向つてその決算報告を爲すは、現代貴族の責務である。その責務を果す事に於て、現代の貴族は存在の理由があるのである。そして、現代の貴族文化から獨立して、無產階級獨自の新文化を創造するは、現代無產階級の責務である。その責務を果す事に於て現代の無產階級は存在の理由があるのである。無產階級は今不毛の地である。無產階級の文化は今不毛の文化である。

身を以て民衆不毛の地を耕さうとするこのトルストイのスピリットは、同時に有島氏のスピリットであり、未明氏のスピリットである我等は彼等と共に、各自の最も得意とする形式を以て、この民衆不毛の地を耕し、そこから、無產階級獨自の文化を創作しなければならない。そこに民衆無產階級の世界に、如何に廣大にして豐饒な地が、不毛に附せられて、吾等青年の知識財產をその耕耘に傾けるのを俟つて居ることであらう！——我等は斯かる無產階級耕耘の手を、その廣大にして豐饒な地に、新文化の種を蒔く手を（文化の機關を）無產階級の膏血に依つて衣食することを能事とするかの營利本位の出版業者や、俗惡なるキャピタリストの爲すがまゝに任せて置いてはならない。

今、「プロレットカルト」と云ふ事が問題にされて居る。廣義のプロレットカルトこそ、我等のプログラムの燒點で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある。我等は今、プロレツトカルトに熱中すべき時である。そしてこのプロレツトカルトの細目の中には、是非共、この未明氏の「生活の火」は一つのテキストとして取り容れらるべきである。それはこの本の中に表白された未明氏のサンチカリステイツクな傾向やアナーキステイツクな思想が、我等青年のテキストに値するものであるからではない。過去十數年來、社會主義者として立つた未明氏が、跳梁跋扈する資本主義の蛆蟲共に幾度か過酷にさいなまれながら、尚且その節を屈せず、操の色を今日まで變へなかつたと云ふ事實が、その事實の底を一貫して流れて居るスピリツトが、我等後進のテキストたるに値するものであるからである。(光造)

ヨネ・ノグチの天井

——中央公論八月號——

何か批評の種も哉と思つて渉る。

今月讀み度いものが殆んどない。うんと元氣を出して讀む積りだつたが駄目だ。仕方なく宇野浩二氏の『山戀ひ』を讀んだが、これは三四頁目で泣きたくなつて止めた。ゴーゴリでも何でもよいから、輕馬車が露西亜全土をゴリゴリつとやつたやうなものが見せて欲しい。大體、描き出しから遊蕩氣分で厭になつて來る。

仕方なく『山戀ひ』を止して、野口米次郎氏の詩へと方向轉換に及んだ。『早川雪洲』、『レーニン』といふ詩である。

僕は先頃、氏の詩集『林檎一つ落つ』、及び『二重國籍者の詩』といふのを讀んだこともあるが、大體のことを言へば、詩人は呑氣なもの、雲や霧でも吸つて生きてゐるだらうと思ふと、何うやら情けなくなつて來た。全く、氏が序文で言はれるとほり、『野口氏は下手い』といふよりも、何を感じて生きてゐるかといひ度くなつて來る。それは恰度明治の頃、米國人で日本の浮世繪版畫通の書いた、浮世繪志の中の序文の文句のやうに思はれて、これが當代の詩かとさへ思はれたのであつた。

『早川雪州』を先づ言つて見るならば、米國の活動寫眞などゝいふものは、昔から殆んど駄目なものに決つてゐた。それは無論、仕掛の大がゝりで、何百万弗の費用をかけたなどゝいふことは、今更僕が言ふまでもなく世界一であらうが、その筋の低級なこと、それは米國の文藝が世界の孰れの國よりも下劣であると同じ程度に下劣極まるものだそれは、菊池對里見氏の論爭の程度までも行つてゐない、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大仕掛オドカシ至上主義そのものである。その筋を満足してやつてゐる雪洲であるならば、それが如何に世界的評判の名優であつたにしろ、僕等には何等用のないものであるましてや、詩の材料などになり得るものではない。

それは、『レーニン』の方が遙かに詩の材料となり得るものであり、彼自身も亦一面の詩人であるところが、彼の詩は今や世界の人々の頭を動かしてゐる。そのとほりに、僕等から見れば、彼は世界中の誰よりも一番興味ある存在物である。野口氏はいふ。

『レーニンの名前だつて、日々新聞に出て來る澤山の名前の一つといふことの外なんの響も私に與へません、又與へる筈がないぢやありませんか』と、又いふ、

『急に枯葉が出來て心配になつた庭の松の木の方が、人から貰つたところがとんと鳴かない河鹿をどうして鳴かそうといふことの方が、

あなたが私に與へた質問より遙に重大なのですよ。……

……』

『ほんとうにですね……つい近頃産れた赤ン坊の泣き聲の方が、

露西亞の滅亡よりどんなに重大問題だか知れやしませせん。』

此處に至つて、僕等は天上の人米野口と言ふべきか、塔上の紳士といふてよいか、僕が改めて詮議だて、論理をたてゝ批判するまでもなく、氏が如何なる人であるかゞ分るのである。レーニンも、松の木や河鹿以下ぢや、幾千哩の彼方で蝉耳が痒いことであらう。

『早川雪洲』に至つては、『レーニン』以上の愚劣さだ。漫罵でも、負け惜みでもなく、僕等は悉く不賛成だと言つて置かう。その理由は、僕が此處に說明しなくても、聰明な讀者諸君は直ちに了察してくれる筈だ。然るに尙僕が氏のものを引き出して批評せねばならぬか。それは一語にして盡きる。——現代我國の詩壇には、この類の詩が餘りに多く、又餘りに蔓つてゐるからに外ならない。たま〳〵、氏がその一例として擧げられたやうなものである。終はりにその一斑を讀者諸君に示して置かう。

『雪洲は佛檀の前へ這ひづつて行き兩親の位牌を見て泣きむせぶ』

『雪洲君、私は始めて君の眞實な場面を見ました、君も恐らく始めて眞實な人間の涙を體驗したでせう、』

『若し君に眞實な藝術心があるならば、君はいくつも西洋

に有名な寫眞を持つてゐますが、君はそれを虚僞の遊戯だとして捨て仕舞ひたく思ふでせう。』

といふのだが、恐らく雪洲は米國の宏莊な住宅や別莊で大統領以上の生活をして、時には賭けごとでもやつて暮らすことが好きだらうから、折角の野口の眞實が馬の耳に東の風としか位ゐに聞えまいが、蓋し如何なものであらうか(弘二)

「少年教化」といふこと。
――子供雜誌の傾向と内容――

○

本科正教員　君、近頃子供の雜誌が續々と殖えて來たさうだが、兎角兒童が學校の勉强をしなくなつて困るね。

準教員　然し、子供の常識を發達させる上から云つて、良い傾向だと思ひますが。

優等生　先生、僕今月雜誌を二冊買ふだけのお金を戴いたんですが、何と何を買つたら良いでせうか？

代用教員（軈て免職になる教師）おい、××、雜誌なんか買つて讀んだつて仕方がないよ。

準教員　僕はさうとも思はないね。たとへば『赤い鳥』とか『金の星』とか、それから近頃出た『オヒサマ』などゝ云ふのは、何と云つても子供に讀ませるには良いものだと思ふね。

代用教員　フン、文化々々どん〳〵主義さ。

本科正教員　なんだ『ブンカ〳〵ドン〳〵』てのは？

代用教員　『ブンカ〳〵ドン〳〵』は『ブル〳〵、ドン〳〵』のことさ。『ドン〳〵』てのは太鼓を叩くことで、つまり『ブル』の太鼓を叩く意味さ。

落第生　先生『ブル』つてのは犬のことですか？

代用教員　さうさ、犬みたいな人間のことさ。

優等生　すると犬のやうに恩を忘れない、立派な人間のことですね。

代用教員　ブルドッグのやうに仲間を平氣で殺す人間のことさ、そしてさういふ人間になることを勸めてゐる雜誌ばかりだから、雜誌なんか買つて讀むのは止せつて云ふんだよ。

校長　おい××君、兒童にさういふことを云ふのは止して吳れ給え。

代用教員　大人にかういふことを云つても仕方がありませんよ。子供雜誌を讀むのは子供ですからね。

校長　いや、近頃の進んだ子供雜誌は大人が讀んでも非常にタメになるよ。子供に自然な發達をさせるといふ意味でね。僕は元來數年前から自由教育を主張してゐるんだ

代用教員　そして實行はしないのでせう。

校長　（ムツとして）まあ良いさ。いづれにしても、君のやうな若い人が、つまり僕なんかよりもずつと進んだ頭をしてゐる筈の君のやうな人が、今日、兒童に對する藝術教育を否定するなんて、ちよつと不思議な氣がするね。

代用教員　僕は藝術教育を『否定』した覺えはありませんよ

本科正教員　（校長に應援して）現にしてゐるぢやないか！

代用教員　僕は子供に對するほんどうの『藝術教育』を主張するからこそ、今日の所謂『藝術的少年少女雜誌』を否定するんだ。試みに今日の子供雜誌に現はれる讀物を見て見給え。英雄主義、資本主義、軍國主義、帝國主義の鼓吹でないものがたゞの一つだつてあるか、なる程『赤い鳥』『金の星』や『オヒサマ』などに童話を書く連中の中にはごたいさうな藝術家が多いんだから、彼等の所謂『愛』の思想、『自由』の思想、或ひは又『平等』の思想を鼓吹してゐる場合が多いさ。然し、その『愛』や『自由』や『平等』が何故今日、正當に行なはれ得ないかといふことを、そして又、それが正當に行なはれるためには、如何しなければならないかといふことを、たゞの一つでも子供に教へてゐる童話があるか？童謠があるか？『美』の觀念を子供の頭に養なはせるのは良いさ。然しその『美』の觀念たるや、全く少數の階級の子供にとつてのみ、持つことを許される『美』ではないか！……そんな雜誌を、貧乏人の子供達が、親父の貧しい財布から貰つた金で買つて見たつて何になる。僕はそんな金があるなら、天丼の一杯も喰つた方が良いと勸めるよ。

校長　君は不良少年を養成する積りか？

代用教員　現在の社會では不良少年や、落第生の方が、善良な兒童や、優等生よりも、遙かに自然な育ち方なんですよ。現在の不良は、現在の制度が生んだ不良ですからね。

校長　（默したまゝ何か手帳に認める）〇

右のやうな會話が或る學校で、右のやうに行なはれたと思召せ。御身達偉大なる童話作家の方々は、嘸かし、これを見て、『苦笑』『憫笑』『嘲笑』の一矢を以て酬ひられるに止まることでせうが、過去の『俗惡』なる兒童雜誌に飽き足ら

なかつたあなた方が、『高尙』なる藝術的兒童雜誌に據つて果して如何なる思想を、感受性の强い、何物をも受け入れやうとする子供の頭へ『受け入れ』させてゐるでになりますか？要はあなた方が現實を直視してゐるかゐないかであります。『少年敎化』といふことが、直ちに『ブルヂョワ敎化』への前提ではないといふ簡單な事實を、あなた方が知つてゐられるか否かであります。私はみなさまの反省を求めるやうな高尙なことは致しません。現在の如くであるならば、あなた方の藝術による『少年敎化』は却つて『少年惡化』であることを斷言するだけであります。
大日本帝國童話名人連御中　（孝丸）

詩人の合葬

もうくだらない遠慮なんかして居れない言ひたいことだけはすば〳〵言ふ。馬鹿くさい作品なんかは、眞正面からごつんとやつつける積りである。が、しかもいゝもの、尊敬に價するもの、それらは決して見落さない——すべては十分承知の上でのことである。

で、さしあたり、今月は今手許にある雜誌の中から、詩だけぼつ〳〵批評をやる。

『四月の人々』——佐藤惣之助氏（帆船3號）

一寸見かけはいゝ詩である。再讀してからがつかりするあまりにくどい。そしてすべてが遊戲である。こんな愚作が、今の詩壇の大家の詩だと言ふならあきれる。が、强いて義理にもほめねばいけないと言ふのならいつもの同氏のごて〳〵白粉を塗りつけた、嫌味が無いだけのことであるあつてはたまらぬ。が、なんにしてもいつか『日本詩人』誌上で——『ソロモンよ、ダビデよ、サルタナバザルよ、私は古代の王の讃美者である。そして私は美人の友、英雄の仲間だ、片輪やケチな人々の友となり、民衆主義の演說者になりたくない。民衆主義、社會主義の感じは汚い。私は汚いもの〻敵だ』と恥し氣も無く過信の奴隷、時代錯誤の根性をさらけ出した人だけに、その白粉がよし厚くとも薄くとも、またははげ落ちてゐやうとも僕等に緣の遠い詩人である。特殊な感覺、それの粉裝、たゞそれだけが詩であるなら、時代はまさに逆轉する。

『都會小曼陀羅帳』——中西悟堂氏（帆船3號

この作者の持つてる心臟は、どうしてこんなに弓なりに歪んでゐるのか、持つて產れた正しい眼は、全くめくらにしてゐるのか。一寸想像がつきかねる。

『貧民窟は魔女の淨らかな疑獄である、』

『貧民窟は都會博覽會幽遠なる現實の神話部である。』

いくら詩人は、雲や霞を食つて生きてる特殊な人間であるにしたつてこれでは全くやりきれない。一度貧民窟を見て來玉へ、如何に君の詩作の態度が、浮つ調子で、ふざけてゐて、たゞ感覺を弄ぶ――馬鹿氣てゐるかに氣がつかう。氣が付かないなら、最早議論の餘地はない。あはれなる盲目詩人よ！むしろ憫むべき限りである。

『煙を吐く墓標』――中田信子氏（帆船3號）

この作者のものは、可なり今まで讀んで來たそして現代の女詩人の愚劣な手本だと思つてゐた。いやに社會詩人を氣取つて、その實傳統の腐つた血がその全身に流れてゐる『煙を吐く墓標』なんかはまぐれあたりの出來榮へか

『あゝ、かうして、日はゆき、日は來りて』

以下、『煙を吐く墓標は、次第に多く立てられるのだ！』なんて少々くすぐつたい。

『太陽にひろはれし子の唄へる』―河東達雄氏（帆船3號）

いゝ詩を書いたものだと思ふ。すつきりしてゐる。それに深い。まづ最初の

『草に臥して　生活を思つてみるとき
國と言ふ名がいやになる』

なか／＼いゝ。世界人の匂ひがある。あまりその名が知られてゐない人だけに、これだけのものを作つた、作者の素質は賴もしい。知名詩人の大部分が實にくだらない今日、むしろかうした無名は一つの痛快だ。帆船3號前後を通じて、この詩は一番光つてゐる。

惠まれたる人、前進しろ！

『天を眺めて』――山村暮鳥氏（日本詩人八月號）

童謠である。實にうますぎる童謠である。が、たゞそれだけのことである。腐つた思想をかくし、黴の生えた智識

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をいつはり、子供にばけた悪魔の童謡――これを讀んだ子供が果して、どんな氣持ちになるだらう？ 私は童謡を蔑辱する。大人の作つた童謡を。(――たつたこの前まで、私はそうは思はなかつた。が、近頃痛切にそれを感じる)で結局かうした、大家(?)山村暮鳥氏の、――如何にそれが苦心の作であらうとも、私に取つてはさらに多數の子供にとつては。飴玉よりも値打ちがない。

『花うばら』――生田春月氏(日本詩人八月號)

春月氏の詩玉(?)に就ては敬意を拂つて、默殺しやうかとも思つた。が、何としても、この『花うばら』は氣にかゝる。實に千九百二十二年の八月眞夏に、『花のそなたがうらやまし』そなた・こなたはやりきれない。暑い。くさい。それも明治二十二三年當時の、山田美妙齋、森田思軒、等の詩人が、巾を利かせた時なら知らない。今時そうした「そなた」の詩ではうんざりする。だから詩人が馬鹿にされるも無理がない。

『ほのかに忘れ難き者』――坂本ひさし(氏白像八月號)

甘い。甘い。もつと何とかして欲しい。それに表現が古くさい。舊來の詩形に對する約束、定義を、頑固に固執してゐるのが、この人の爲めに泣きたくなる――ものもある。すべてをうつちやれ。そこからも一度、歌ひ直して貰ひたい。が・私は決して頭から、リリシズムがいけないなぞと言ふのでない。それもよかろう しかし僕等の求める叙情は、もつとちがつたところにある。

『ゆかしき琴の音をきゝて、いまなら涙うらかなし……』

たまらぬ、たまらぬ。女子大學の寄宿舍の裏で歌つて丁度いゝ。時代は流れる。詩人は時代の先に立つ。腐りきつた過去をみつめて、未練の涙を流すのか、まはれ右前へ！前へ！ (淳三)

第一作家同盟讃意

少し遲蒔きの感はあるが、第一作家同盟成立のことを少し書き度いと思ふ。

此處に僕が改めて言ふまでもなく、現時の藝壇の腐敗墮落は、彼の實業界、官界、宗教界……其他總ゆる社會の腐敗墮落と共に、それは極度に腐亂してゐるのである。それ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、畫家自身が現代社會を超越して生活することが不可能であり、その爲めに何かの形で現代社會の空氣が侵透して來ることは、一面生活に弱き人間として同情に値ひするものであるが、その同情に値ひするものだけならば未だしものこと、日本畫界のやうに此方から賴みこまずともどんどんと賣れて行く連中に返つて鼻持ちならぬ人々の多いのは僕が今冗々と例證しなくとも、知れ過ぎた程に知られた事實である。

或人は云ふ。『彼等は一種の詐欺師だ』と――僕でさへ『さうだ』と言はざるを得ない場合がある。そして彼等は成金共と同じ心持で遊蕩三昧の生活をする。こんな實例は枚擧の外である。僕はもうこんなことは言はないで置かう。

尚、轉じて賣れない方の西洋畫の方などを見ると、喰ふや喰はずでコツ〳〵とやつてゐるものがある。育ちの甘い連中は、モデルと頸つ引きで、砂糖蜜のやうな甘い所謂畫室の繪を製作することに腐心してゐる。畫室の繪が概念を作り・その人の進歩の爲めにも――少なくとも藝術が實生活の反映である以上。又さうであらねばならぬが。――非常に有害であることは、石原純博士の美學を俟たずとも、極めて明らかなことである。彼等は已に天上に登りつゝある

現今の畫壇への不滿はこれ位ゐではない。これは他の機會でも言つたことであるが、詳しくはその方でも併せ讀んで貰ひ度い。讀賣新聞・七月二十一日、及び中央美術十月號)

こんな狀態にある我國現畫壇に、殊に邦畫畫界の一角から、總ゆる情實、弊風、因襲を打破し新たに眞の藝術の道を啓く運動の生れたことは、僕等は雙手をあげて贊成するものである。寧ろ、その烽火の餘りに遲かつたことをさへ惜しむものである。革新といふことの困難、精進といふことの辛慘、誠に前途の難儀は思ひやられるものであるが、僕はこゝに第一作家同盟の成立と、その前途に對して總ゆる讚意を惜しまぬと同時に、僕等の期待を滿足さして貰ふやう確かりやつて貰ひ度いと切望してやまないのである。

極く簡單ながら、右の讚意に併せて、切なる希望を述べる次第である。(弘二)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貧乏暇あり

—（赤 幣）—

貧にして然も寧日暇無き光造、川崎に新たなる塒を獲て先づ肩を收む。赤幣庵の門に集ふもの、同門の誼を以て彼が『赤貧』の本體を検分に赴むかんと欲す。嗤ふなかれ、赤貧の『赤』は即ち『黒變』すべき『赤』なり。

プル門の徒輩徒らに灼熱を畏怖するのとき午さがり彼が新たなる塒に到る。思はざりき光造かゝる荒犬無邊なる低[illegible]を構へんとは！見よ、屋根高からずと雖ライト式に非ず。榱門無しと雖強ち美人窺はんとせず。然も前面の澱江水清からずと雖魚住まず。

食足ずして藝術を知る赤幣派の俳人、句を成して腹間の空隙を充たす。

彼光造が俳人嘆じて左の如くなん詠めりける。

新宅やみなブルヂョワの御連中
　冷しビールで賑はひにけり。

▲酒屋ことはられ團扇をつかふ暑さかな

亮、言ひ譯に汗だら〳〵。

弘二、よく家は斷られないね。

小牧、洋文かな？洋文なら家賃の催促矢の如く、遂々講演と逃げるだらう。

洋文、そんなヨブンなことは言ふな。

▲夏來れば人は裸になりたがる。

孝丸、あたり前さ、巡査だつて裸になりたがる、元來犬は裸だからね。

淳三、特等（禿頭）の犬はどうするんだい。

小牧、ヘルメットをかぶるさ

光造、誰だい俺の句にそんなことを言ふ奴は熱風を見舞ふぞ。

▲洋食皿を横眼でちよいと見た俳句會

弘二、誰だい、食ひ意地の張つた奴だなあ

亮、三日前から食はぬからな。

光造、淳三の句だな。

淳三、馬鹿ッ！そら賢三が笑つてらあ。

▲○○の讃馬鹿なぜ早く來ぬ暑さかな

小牧、そんなことを言ふと○○○だよ。

賢三、今度は僕が編輯人ですからね。淳三さん頼みますぜ、

▲職工尻をこがすトタン屋根に雀米を窺ふ

弘二、誰かの風采のやうに馬鹿にハイカラな句だね。

孝丸、（思はず）この野郎

淳三、孝丸の句かい。なあんだ。自分の尻がこげてるくせに。

▲入道雲のやうな煙を立ててすべてがひつくり返れ。

亮、なんだ夫婦喧嘩か。

小牧、夫婦喧嘩犬も食はず。

孝丸、どうせ問題にしてゐないからね。

弘二、そう言ふ奴等はくやしくつても女房はあるまい、痩せ我慢言ふない。

▲君には解るまい影法師の暑さかな（加藤一夫に送る）

弘二、空想の點で其角もどうやら裸足だね。

淳三、加藤も犬も居ないぢやあないか。

光造、加藤は今朝早く出たよ。

小牧、それぢやわしも知らない。

▲瘠せ蛙助けろ弘二水にあり。

淳三、助けたいが、あの長さで卷きつかれてはこつちがたまらぬ。

弘二、やせたとは言へ入道雲の煙のやうなものだ。この腕をみろ、汝、山川亮！

亮、痩せ腕で泳げるのか、こつちは免許取りだ、

小牧、痩せ我慢！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界欄

エス・エル黨員の罪狀

事實は最上の雄辯である、僕たちは社會革命黨の罪狀を次に發表して○○に贊成するところの讀者に公平なる判斷を要求する。

一、十月革命とエス・エル黨

一九一七年十月二十五日、即ち十一月七日の革命は、ケレンスキーの臨時政府を斃したそして全露ソヴイエツト第二大會は、土地と平和と言ふ政權の二大要目を確定した。そしてその政權と言ふものは、勞働者によつてのみ運用されるものであつた。然るに軍閥並びに地主たちは、それの轉覆を企つる敵であつた、この敵のうちに於て社會革命黨は、ケレンスキー内閣中の有力なるものであつた。臨時政府内閣議長を始め、モスコーの議會の多數黨はその味方であつた、然るにその不徹底なる決心、農業問題に於ける不徹底なる態度、聯合國に對する態度が、一般人民の信用を漸次失墜せしむるに到つた。

社會革命黨は、その第四大會に於てその爲政者の無能を自ら指摘することになつた。

エス・エル黨、即ち社會革命黨は、その時事態の容易ならざるを感ずると共に、その傾向が益々反革命的に進んで行つた。そしてブルヂヨワと提携するために、憲法議會を招集すべしとの說に贊成し始めた。かくてプロレタリア革命が、血を見ずして勝利を得たるに對して、エス・エル黨は猛烈に妨碍を加へたのである。

二、エス・エル黨は反動手段をペトログラードに於て施行せんとしたクラスノフ將軍と提携した。

エス、エル黨は、その十月革命をもつて、ボルセヴキキが革命以前、憲法議會の開會前にあたつて、それを倒壞したことを非常な罪惡とした、チエルノフはクラスノフ將軍と妥協してそれに反抗した。同時にペトログラードに於ては、一揆を起してこれに反抗しやうとしたのであるが、このことはクラコベチキー並びにラチキンブラウンがそれを證明してゐるのである。然るにこの反革命運動は全く失敗に歸した。そしてその後ラチキンブラウンは自白してゐる通り、この運動は明かに變節的行動であつたと證明してゐる、故にエス・エル黨は道德的にも、また軍事的にも全々失敗に歸したのである。然るにエス・エル黨の第四大會は、またしても反革命運動を起さうとしたのであるが、そのことはチエルノフが立派に自白してゐるのである。そして同黨は秘密團體であるところの親獨主義者イワノフ辯護士と通じ、ソビエツトの轉覆を目的とする爲めにリウデンドルフとすら提携するに至つたのである。かくの如くエス・エル黨は憲法議會開會に際して、極力その勢力を反ボルセヴキキに集中した。

三、何故に、またどうして憲法議會が解散されたか——エス・エル黨の内亂準備。

然るに、一九一八年一月五日、ペトログラードに於て憲法議會が開會されたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

超えて同月八日全露ソビエット第三大會が開れた。この會の席上に於て、我等の老雄たるヴォロダルスキは『平和を欲するものは、須らく憲法議會がソヴヰエットの勢力と接觸せざるべからざるものである』と言明した。こゝにディレンマがある。エス・エル黨は憲法議會に於て大多數を占めて見えたのであるが、ボルセヴヰキはソビエット大會並びに大衆の中に於ての大多數を占めてゐた。

全露ソヴヰエット委員會は一月三日に集まつて、『ロシアは勞農兵ソヴイエット共和國であり、その許に、全權力が置かれてあること』を宣言しやうとしたのである。

然るに、さういつた風な聲明は、二三七對一四六の差で破れたのであるが、この時ウクライナは棄權したのである。これは明らかにエス・エル黨がブルヂョワジイと妥協してプロレタリアの革命たる十一月革命の承認を拒否することを意味する。

一九一八年の一月十日に全露ソヴイエット執行委員會の提議に基き憲法議會を解散することに決定したのであるが、反革命家に依つて組織された憲法議會は當然反對したのである。

四、ブレストリトウスク條約とエス・エル黨の態度、内亂及び干渉の準備――デモクラテイツクな僞善の標本。

平和と土地を農民にといふことを聲明したボルセヴヰキは泪をのんでドイツと講和條約を結ばなければならなかつた。そして、例へブレスト・リトウスクの講和條件はあまりに苛酷であり、帝國主義の條件にしたにしろ、革命を擁護するためと、これ以上憐れな勞働者や農民を殺すことは忍びなかつたのであるで、一九一八年三月の全露ソヴイエット第四大會は大多數をもつて同條約を批準した。ところが、この第四大會があつた直ぐその後からあらゆる社會黨並に文明國に檄を飛ばし、ブレスト・リトウスクの講和締結を否認すること、そしてまた、聯合國の援助を得て獨墺と戰爭を繼續することを宣言し、勞働者、農民を煽動した。當時のエス・エル黨の實行手段といふものは次のプログラムであつたのである。(イ)ボルセヴヰキの政權轉覆、(ロ)民主政府の樹立、(ハ)聯合國との協同、(ニ)戰爭の連續。

五、エス・エル黨と聯合國並にブルジョア反革命運動派との提携。

それ以來、エス・エル黨は民主的と稱するブルジョアと妥協の政府を樹立す可く手段を選ばなかつた。エス・エル黨は聯合國から軍用資金をせしめ、全くその手先になつたのである。これらの關係は當時の駐露フランス委員附武官ピール・パスカルや、フキガロ紙記者ルネアルシャンは最も明かにこれらの内情を證明してゐる。また、エス・エル黨員イニヤチエフの告白するところによればエス・エル黨は聯合國の武力を借りて勞農政府を轉覆しようとしたので、反革命運動の勢力を北部アルハンゲルスク、ウォログダ、東部サラトフ、サマラ、ウファ、等にした。そしてシベリアに於けるチェコ・スロヴアク軍の反亂(一九一八年五月末)が全反動運動の蜂火であつた。かくて、サマラは反革命軍の手中に歸し一時同地點が反革命運動の中心となり、その後ヴォルガに本部を移した。ウォルスキイ、クリムチユキン、ネステロフなどがその重なる顏役であつた。

そのうちにアルハンゲルスクでは同じ目的の運動の手順がととのつたので、使をヴォルガの本部に派し之と機脈を通ずるに到りそこに北部民主政府なるものを樹立し、平民社會黨員チャイコウスキイがその首領になつた。同政府なるものの顏觸を見ると、他に三名のエス・エル黨員と二名のブルジョア黨員がこれに入混つてゐた。北部政府の勢力には舊帝國時代の古手將校、君主主義で一杯であつた。その後コルチャックがシベリアで一時昇天の勢を示したので、チャイコウスキイは北部政府の政權をコルチャックに讓つたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六、シベリアに於ける反革命運動

さて、コルチャックの天下となつた。しかし、彼のはかない末路、セミョーノフ、ホルワット、つぎつぎの人間らの運命と日本のシベリア干渉に關しては玆に逃ぶるまでもなく諸君に新らしいところである。たゞ、僕らの深く考へなければならぬことは、そういつたシベリアの反革命運動を幇助した日本の出兵に對して、日本の無產階級運動は何をしたかといふことである。シベリアに就いての詳細は「無產階級」の九月號を參照されたい。同誌は全部をあげて今日の問題であるシベリア問題を取扱ふことになつてゐる。

七、南露に於ける反革命運動

南露に於ける反革命運動のさし金は聯合側特に、フランスとイギリスであつた。同方面に於ける勢力はむしろブルジョア反動者、愛國の狂縱者らであつたので、エス・エル黨の立場からこれらの右翼よりは左傾す可きのに事實は全然正反對であつた。ウクライナは最初ナショナリストからなるムダ(代議議員)が權力を握つた。しかるに、エス・エル黨はこれに對して、どんな態度を採つたかといふと當時、ウクライナには反革命運動をなす二つのエレメントがあつたのである。が最初エスエル黨は自治を目的とする農民、地主、ブルジョアの一派、ブルジョア君主主義者と提携し、その後獨立派のペトリウラと結んだとして、その後更らにデニキン軍の前進であるところの、アレキセフ將軍の白軍と通じた不斷淫妄娼である。そして、當時モスコウに於けるエス・エル黨員が、盛にアレキセフ將軍やデニキン將軍と機脉を通じてゐたことは今では爭はれない事實になつてゐる。そしてその頃から、テロリズムが一層猛烈になりかけた。

地方欄原稿募集

各人の生活狀態、各種團體の狀況、運動並に爭議の實相、其他虐げられたるプロレタリアの生活を詳細に報告ありたし。本誌地方欄は全國のプロレタリア諸氏の爲めに、全部を解放して寄稿を歡迎する。（係員）

×　×　×

（一一七頁より續く）

四、東支鐵の紛議

東支鐵道は經費削減の結果愈々ナハロフカ組立工場勤務の下級從業員の淘汰を斷行した。然るに同所勤務のロシア人に對しては何等そのことなく、たゞ今回の淘汰は支那人勞働者にだけ限られたことであつた。支那人勞働者はその不當を鳴らして玉某を代表者として督辦公所に當つてゐる。今後如何なる方面にまで發展するか分明しないが支那人勞働者の今回の態度は餘りに意氣地がなさ過ぎるとのことで大した望はかけられさうもない。

東支那鐵道側に常に反對の勢を擧げてゐるハルビン發行ハルビンスキー・ヾズーニ紙は數度の發賣禁止を受け本十六日又又發賣を禁ぜられた。（チタ發七月十六日）

地方欄

曾我廼家以上

金澤　牛田　澤磨

六月七日のビラ張り事件以來――と云ふのは今年六月七日の夜何者が張つたとも知れず金澤憲兵隊の正門を始め其他所々の電柱に、革命歌や赤化宣傳の赤ビラを張つて廻つた不屆者がゐた――神經過敏になつてゐる金澤の警察は、イヌを四方八方に追ひ使つて、何か證據にでもなるやうなものもがなと嗅ぎ廻らせた甲斐もなく、とうとう何の獲物も摑むことが出來なかつた。その癖、要監視人が堂々と大手を振つて金澤市の玄關口である金澤驛から出入りしてゐるのを知らない氣樂さであるそれも無理のないことかい。縣の〇〇課と憲兵隊とは常に功名爭ひして、相互に惡口の吐き合ひをしてゐるんだからね。サンヂカリズムと云ふ横文字を軍國主義と考えたり、今から十年計劃でＡＢＣの稽古をしやうと云ふやうな素張らしい〇〇〇〇ゐる所だから、まかり間違へばレーニンは劇藥の名でトロツキイは西洋草花で御座るとスマしてゐる偉い先生方が、ワンワンとなつて主義者の匂はせぬかいなアと鼻ピヨコピヨコで、何も知らぬ良民の家を無暗矢鱈に突つき散らし、揚句の果には家宅搜索をしやうと云ふ勇氣のある〇〇〇〇どもだ。

例の六月七日夜のビラ張り事件にまんまと犯人を逃亡させて終つた腹いせの、ムシヤクシヤ腹でゐる所へ、突然降つて湧いたやうに足下から持上つたのが金澤師範の同盟休校事件だ。待ち構えてゐた金澤のイヌどもは『そらツ』とばかりに突貫した。と云ふ理由は、例の赤ビラなるものが學校教師並に學生達に對しての宣傳ビラであつて、しかもそれが立派にチャンと師範の寄宿舍に數十部撒布されてゐるばかりでなく、學生控室にまで張つてあつたと云ふのだから、神經過敏になつてゐる憲兵隊や警察は、今度のストライキもその結果に違ひないと目星をつけて、何でもストライキの首謀者を引捕へて、否應なしに赤ビラの犯人、少くも共犯者にしやうと懸つたものだ。さうして東京の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇御覽に入れてお賞めに預からうと云ふサモしい根性だ。しかし事實はイヌどもの御注文通りには行かぬと見えて、この暑さに汗水流した甲斐もなく見事にはづれて後に殘つたのは〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、役人根性のあたじけなさを笑つてゐるんだ。

所で神經茶ピンな役人どもの耳には、その蔭口は耳に入らぬと見えて、金澤の主義者連をウルサク突つき出した『ヤレ東京から來たビラを出せ』の『△△の行方を云へ』のと、そのウルサイこと、まるで鍋の珍味にでも集つた糞蠅みたいだ。Ｓ君の家なんか一時は〇〇〇〇〇包圍せんばかりで夜晝なしに目張つたものだ。そこで頗る珍なことは、〇〇〇〇〇〇御苦勞千万にも『かくかくの人相の男が金澤のＳの家を訪れる筈で出發したから』との照會を御丁寧にも人相書まで附けて照會したものだ。驚ろいたのは〇〇〇〇〇〇〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のやうにして停車場で見張つてゐると、案の定人相書そつくりの男が下車して、しかもS君の奥さんが迎へに來てゐたのだから、もうテツキリこれだと睨みつけて、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。その後へ眞物の人物が、御苦勞さまとも何とも云はず金澤市中へ入つて終つたものだ、ワンワンどもは鬼の首を取つたやうに、S君の家へ押懸けて調べると、何アンのことだ、その人はS君の奥さんの從兄で赤くも何ともない人なんだオヤオヤと頭を書いて引下がつた頃には、例の不届者は〇〇の門へピタリピタリと赤ビラを張つてゐたんだから、完く曾我廼家の喜劇でも見られない芝居だアね。ハツハツハツ……………ところで金澤師範の同盟休校の眞相は賄改良と某敎師に對する彈劾とで、赤ビラとは無關係なんださうな。

尙その上にも面黑いことは、縣特〇〇〇〇が何と考へ違ひしたか戸惑ひしか、大聖寺や片山津の溫泉まで御出張遊ばされて、主義のシュの字も知らない某旅館へ踏込んで家宅搜索をしたり、土地の郡書記さんや小學校の先生理髮床の職人方を一人一人呼び出して、嚴重に取調べたがこれらの良民達は〇〇〇〇〇〇縮み上つて平身低頭するだらうと思ひの他、却つて〇〇〇〇ロから社會主義の講釋を聽かせられて、〇〇〇〇歸された時には、揃ひも揃つて眞赤に左傾して出て來たと云ふのだから、何の事はない〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇をやつてゐるやうなものさ。〇〇〇〇〇〇〇〇。

秋田に於けるロシア飢饉救濟運動

寺延 衛夫

土崎港町では左の團體が蹶起してロシア飢饉救濟運動を起した。

土崎新報、裏日本、南秋時報（以上新聞社）土崎佛敎會、九行會、婦人信友會（以上佛敎團體）街道社、玫瑰社、草人社、秋田勞農社、種蒔き社支部、文化協會、ミナト倶樂部、汀友會有志（以上雜誌社及思想、文藝團體）學生有志及歸省學生會（以上學生團體）

是等諸團體の代表者は七月十七日同町久寶寺に會合し、第一回發企人會を開き、實行方法を歡談協議した結果、第一回の試みとして同町祭典に慈善鍋及バザーを設けることに決した。官憲は何と思つてか「第一日の試み」として二名の私服を「遊び」に遣した。發企人側は激昂するものがあつたが、幸暗い本堂からは化物も出なかつた。

元種蒔き社の關係のある人達が奔走した爲めか、〇〇〇初めから東京の諸團體と連絡關係があると睨んだらしく執拗に御親切がつゞいた。縣當局でも血眼になつて探したらしいが、何分にも全國に取締上の前例がない催しとて、「理解」ある與村署長の苦心は一通りではなかつた。

七月二十日。名物の港つ子のよい祭、午後三時、「飢えたるロシアを救へ」の大ビラは貼られ、「ロシア飢饉救濟會バザー」の長旗は樹てられて店は出來上つた。

實行委員の學生有志は二手に分かれ一方は土崎商業生徒十五六名の應援を得て電車停車場前に陣を布き玫瑰社の歸省學生の一團十數名は肴町に陣取つた。純眞な青少年の手から道行く人にビラは配られ、熱烈な聲を絞つて「飢えたるロシア」を人々の胸に訴へた。

秋田市及近町より集ひ來る有識無識の人々へ何等かの刺戟を與へずにおかなかつた。此日賣上百圓を越した。

翌二十一日は急拵しらへの山車が三つ四つ增えたので港の空氣に一層の活氣を呈した。午前九時開店、炎天の街頭に聲を枯し、樂しかるべきお祭もよそに同胞の爲めに奮闘する可憐の青年の熱情に、どうして動かされず通り過ぎよう。

二度三度、四度も五度も引返しては買ふ人や、泪を流して感謝して行く田舍人もあつた

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

食事とる間もなく客足がつゞいた。店の附近は絶えず「御親切」があつたので幸「不届者」も出なかつたが、夕方妙な噂さが傳つた。――其筋のさる御人が學生の私宅を訪問して「あんなことに關係しては將來を誤るものだ」と親御へ御親切な注意があつた爲め、外出止めに遭つた學生もあるとか、さる政黨屋の陣笠連が此運動を政爭の渦中に卷込うとしてゐるとか、此日學生三名ばかり歸鄕したのを又しても「御親切」な筋では「それ小牧が歸省した」と大騷ぎをした――十一時過ぎ疲れ切つた委員は百五十圓以上の賣上げに慰められ、此催しに特に便宜を計つた大橋商店、物産會社、播磨商店、桝屋藥舖などへ口々に感謝を言ひ合つてゐた。

翌二十二日の秋田三大新聞は筆を揃へて、學生青年の奮鬪振りとバザーの成功を傳へ、學生に對する當局の處置に就き工藤醫部補の辯明を掲載した。此日突如として秋田魁紙上にロシア飢饉救濟義捐金募集の檄文と廣告が現はれた。

二十四日第二回發企人會を開き第二次の實行方法を協議した末、愛國婦人會南秋支部總會々場に再びバザー及慈善鍋を設けることにした。秋田魁新報、秋田新聞、秋田朝日新聞は三社合同して義捐金募集の衝に當り全國に其範を示した。實行委員が再三交渉の甲斐もなく何等の便宜をも與へられなかつた。そのくせ郡長以下郡役所吏員と小學校職員全部を擧げての準備委員は遺憾なく組織立つた奴隷振りに忙殺されてゐた。

二十六日、秋田魁紙は「飢えたるロシアを救へ」と社說に揭げ列國に後るゝなと叫んだ。早朝數千枚のビラは貼られ會場前には慈善鍋とバザーが設けられた受付け前にズラリと設けた帶劍の席からは絶えず「了解」のある護衞の眼を向けられてゐた。會長下田歌子氏は正午お歷々の令夫人、特別會員、幹部を從へて退出した。「飢えたる人々を救つて下さい」と叫ぶ青年の熱誠にも、「世の婦人たちよ！……」と書き出された悲痛な訴へにも一顧も拂はず、さすが敵國の負傷兵をも救ふてふ博愛の心と勇氣をもつ「正三位」、悠然、傲然自働車で疾驅して行つた。お歷々は皆之れに倣つたまではいゝとして自働車の中から「馬鹿」といふもの、「二錢銅貨を抛り付けて」行く「名譽ある愛國貴婦人」もあつた、港の婦人はさすがに人力車を止めて、應分の喜捨を惜しまなかつた。午後二時半七百の平民會員は雪崩の樣に散會した。晝餉もとらず待ち設けた青年は、バザーに、慈善鍋に、ビラ撒きに必死の活動した。百姓の老婦人は涙を流さんばかりに熱心に說明を聽いた。そして必ず喜捨を忘れなかつた。一町先きの出口から財布を開いて來るものもあつた。

あゝ貧者の一燈。集つて三十二圓九十一錢眞に博愛人道の精神を體するものは、民衆よりないと感ぜられた。

二十九日第三回の委員會を開き全縣に亘る運動方法を協議した。バザー慈善鍋の純利益八十九圓四錢を可決し、三十一日を第一回として之を國際聯盟に托し、ナンセン博士の手を經て飢民に送金した。

第十七聯隊のシベリア撤兵を迎へんとする秋田は、青年の活動が漸々其手を擴め、ロシア飢饉救濟運動は言論に實行に、今や全縣の輿論とならうとして居る。一九二二、八、一

二十世紀の奴隷

野本 正雄

去る七月二十三日の午後十一時頃相州田浦驛プラットホームは月曜の事とて海軍人職工其他一般客で非常な雜踏を呈した私も其中の一人だつた私のすぐ前に三菱の帽子を被つた二人の職工と微醺機嫌の他職工一人が立話してゐたその周圍には水兵や乘客が大勢汽車の着くのを持つてゐた、彼等三人の職工は話に夢中なつてだん／＼聲も大きくなつて私の耳にも入る樣になつた、其中の一人が他の二人の三菱工に話してゐる言葉がとぎれ／＼私の耳に入つた「オイ君、三菱があれだけの財產

になつたのも我々勞働者の御蔭ぢやヤねいかそれを奴等は考へねいでどし／＼我々を苦しめるなんて太い奴ぢやヤねいか、そうだらう……」此處まで話しが進んだ時その職工は口をつぐんだ。

少時して又何かブツ／＼云ひ出した、始めのうちはよく聞取れなかつたがだん／＼聲高になつて「軍人なんて一寸立派な樣だがありア體裁のいゝ……

……

……」まだ續け樣とした時側に此の話を聞ゐて居つた一人の水兵が突然今迄話してゐた職工の顏をイヤと云ふ程げんこつでなぐつた其職工は少し醉つてゐたから堪らないヨロ／＼／＼とヨロけて私の腰掛けてゐた側の椅子へ倒れた顏は鼻血で眞赤になつてゐた水兵は「時の軍隊をけなす奴は〇〇〇〇」などゝ言ひながらなほも續けさまになぐつたり蹴つたり散々暴行を加へたがその職工は少しも反抗する色はなかつた、そのうちに一人の他の水兵がその暴行水兵を無理に現場から遠ざけて了つた私は此の光影を目前に見て思はず筆を取つた。

其職工の言つた事が果して軍隊をけなしたか？　又そう言つたからと云つて〇〇〇〇〇〇　私はこう考へた、「軍人は體裁のいゝ〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」實際此れは眞理であり又事實である眞理と事實とを語るに何の故障があるか、眞理と事實との發表を妨害する彼水兵こそ眞に〇〇ではないか私は實に其職工は偉いと思つた又其の半面には無智な水兵を憐んだ。

軍國主義を標榜して若き數多の男性を專制的に……

……

……

……軍人の存在する以上眞の立憲政治及自由平等は決して出現すべきでない。

見よ！　獨逸革命を彼は陽に立憲制を叫び陰に專制政治を敢へて强ひたるが故に內より革命勃發し遂に悲慘なる境遇に陷つたではないか、して見ると我國も軍人の弊……

……〇〇〇〇〇〇。

『通俗社會主義』

加藤一夫氏は今度上記のパンフレットを自由人社から出版する。定價は一部十五錢、十部以上は十錢にまけるそうである。

來月豫告其他

來月は「種蒔く人」が生れてから實に一週年目である。その間二度も發賣禁止を蒙つたが、とにかく今日まで漕ぎつけた。で、その十月を紀念する爲め、同人全部の創作號を出版する。今の文壇にそれがどんな位置を占めるか、一寸面白いと思つてゐる倚、十一月には今まで手許にたまつてゐた寄稿家其他の玉稿をまとめて出したいと思つてゐる。どうか今から期待をかけて居てほしい。

それからも一つ、秋にでもなつたら東京在住の讀者だけでも、一度何處かへ集つて貰つて、一種の讀者大會をやりたいなどとも思つてゐる。これについて意見のある人は、どんどん何とか言つて欲しいものである。

最後に七八合併號は、實に素晴らしい賣れゆきで、この點ひそかに感謝してゐる。今殘本はわづかにある。もし入用なら至急申込んで貰ひたい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聳人

無産階級ないないづくし

——貧乏詩人淳三に與ふ——

光造

カフエーの女にや惚れられない
アイスクリームも飲まれない
喉が渇いて仕様がない
鐵管ビールぢや醉はれない

工場を出されて仕事がない
質に取られて蚊帳がない
蚊に攻められて堪らない
これでは全くやりきれない

家賃がたまつて居られない
夏服賣つても足りやしない
家主が追出す是非もない
借金したくも貸し手がない

女房にや出られる詰らない
南京蟲にや敵はない
居ても立つても居られない
米屋の前は通れない

米櫃ア空らで炊げない
暑くて何にも出來やしない
二進も三進もうごけない
夜逃げするより仕方がない

第一に蹴飛ばせ

岡本潤

『種蒔く人』六月號、今夜近所の本屋で求めました。一番初めに平林氏の『文藝運動と勞働運動』をよんで、全然同感しました。プロレタリア意識のない人間、階級鬪爭の必然性をも解しない無名作家(?)が、文壇を目あてにして、そのためにこういふ種類の雜誌を利用しやうといふ考を以て、秋波を送つたりする程、唾棄すべき行ないはないと信じます。きういふ人間共は、階級戰線上にある純粹なるプロレタリア文藝運動から第一に蹴飛ばして行く必要があると信じます。殊に僕達のやうに賃銀奴隸としてつながれてゐる者には痛切に感じられます。

糊米判任官

銀杏生

俺れは病んだ
頭と鼻が痛む
卒倒せんばかりに
然し俺れは
朝から夜おそく迄
働く袴勞働者である
頭と鼻は
ますますいたむ
堪えられなくなつた
俺れは
歸宅の許可を
上官殿に願つた
人が足りない

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

辛棒してくれと
上官殿は申される
病める者に
辛棒しろとは
おれもいゝ上官を
もつたものだ
上官殿の宣告に……
反抗しようものなら
辭せと申される
そんな餘計な
心配まで
して下さる
御心に
涙が滲む
歸宅は
如何しても許されぬ
二階へ行つて
一時ばかり
寢て來い位は
關の山だ
頭は益々いたむ
熱は出る
俺れは一日一夜
奴隷的冷遇に
泣かされた
壓制的に强いられた
過激の勞働

俺れは忘れない
それがえらい天下の
判任官の
榮職の權利である
判任官は
頭が痛けりや
御勝手に
屆も出さず
御歸りなさる
頭痛用事!!
俺達は信じませぬ
缺勤すれば
文句云はれる
御方々が
長い間御休みに
なる事は
珍らしくありませぬ
休んでも月給だもの
俺達からみれば
圖々しい野郎と
みえますよ
えらい御方の
なさる事は
間違つた事は
なさるまい
給事からの
御なり上りの。

御苦勞人だもの
少しや先もみえまさあ
御役人様！
少しや俺達の事も
考へてみて下さい……
雇で日給
一日休めば一日へる
手當もへる
三日も休めば
手當は貰へませぬ
日給金一圓と少し
月に三十圓强
我國に於ける生活の
最少限度は
いくら位でしよーかね
大の男一匹
三十圓强ではくえませぬ
生活難と上官殿
兩つの重笠を戴て
とぼとぼと
死の道に急がなくては
なりませぬ
雇員は汗にまみれて
働いてゐるとき
上官殿の面々は
菓子をくつたり
茶をのんだり

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御ひまの時は
ロクでもないひげを
いぢつて
煙草をふかしながら
天井をみつめて
すゞしい御顔をなさる
時々は文なし聲か
それとも糊米聲か
ハヽヽヽヽと
高笑なさる。
髯を生やすのは
野蠻人の標(シルシ)
鯰や鯉迄も
髯を生やして居るんだもの
それを怖れたり。○○○えらいと
思つた時代は
三四十年も前の事？
今に髯にも税金が
かゝりますから
糊米取りの判任官殿
とても税金は………
早く切つたが無難です
やとの通有性をすて、
もつと、もつと、
嗄い人間性を、
もつて下さい。
壓迫された反動力は、
あくまで強い。
壓制からめざめた、
プロレタリヤの力は、
反動力として、
現はれて來ましよ。
野蠻國、世界第二と降らぬ。
野蠻國の日本の帝都。
ワシントンが、
奴隷解放令を出してから、
幾百星霜をへた今日、
二十世紀の今日、
東洋の大都日本の都に、
幾千幾万の奴隷が、
殘つてゐます。
劍と力で立つたワシントン。
俺達も壓制と迫害を、
廢して、
専政と、
…………、
…………、
或る大きい力！と。
何物かを持つて、
自由と解放の爲に、
理想境のために、
立ちましよ。
立たなくては、
なりませぬ。

心から

うつろぎ生

俺達ちわ良く雑誌やリーフレットの類で同志諸君の御說を拜見する時に時々、文字の上ばかりで强がりの類を拜見する、それは讀んで居る内に其の人の心の奥から出た眞の叫で有るかと迷ふ事がある、眞に文は拙なくも心からほとばしり出た聲（文字）は讀手を自然に引きつける、我々の仕事は命がけの事でわないか。決して遊戯的な物でわない他の人樣の受けを良くする爲めでわない俺わ皆な戰線の第一線に立たなくてわいけないと主張する物ではない其の人々に依つて戰線に立てない人も有らう、現在でわそうした人が多いと思ふ主張と行動は一ッに行かない事を知つて居る前に書いた、文字の上ばかりの强がりと云ふ事を誤解したまうな。僕の云ほふとする所は心にもない不眞面目などこかになす所の有る樣な事を云ふなと云ふ事だ、日頃頭の中で考へ通りにピンからキリまで出來ない少くも俺自身は、俺はいろ／＼の事を考へて居る、時々意見を發表する事も有る、が自分の行動はそれにともなわない事を知る、その時此の俺の心は、ニエカエるのだ。眞にニエカエルのだ。此の俺の體を自由に動しめない物があるそれを知る時益々、反逆心は燃立つそうして

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

俺わ益々○○の必要を感ずる○○に參加して行かねばならぬ俺が日頃どんな事をして居るか眞に口惜し友人に死んでしまへと云われてもしかたがない程の意氣地無だ友よ、眞に深味の有る、叫で此の俺の心を、目覺させてくれ、俺も體に滿ち／＼て居る何物かを持つて君達の後からついて行くから、八月號でM君MY君の話しは僕にもそうした、事に經驗あり目の前に見た事が有つただけ强く心を引いた、萩野君の樣な事を僕も每日考へて居る、寺田君はどこかで聞いた樣な名前で親みを持つた(本名でないかも知れんが)

菊地寛の火花

頭鐵投

菊池寛と云ふ男が東京日々で「火華」とか線香とか云ふ長篇小說を書いてゐるのを、昨日ちよいと見た、それもたゞ一回だけ。ところがその一節に、彼はハンマーを振りあげて打ち下ろすと火花が散るのに、快よい氣にもなれた……」ダトサ、馬鹿野郎！　ウヌは一度でも鐵槌を振つて灼鐵を打つた經驗があるかツ、利いた風に勞働問題をダシに使つて妙な小說を書くと許さねえからそう思へ！

種蒔く人を見て

秋田　石川黎明花

しひたげられたる者の叫び
プロレタリアの眞なる叫び
我等の血を沸かしめずんば止ます
其して或る强い
ヒントをあたえてくれる
おゝ
其の名を聞くだに
我等の血潮が沸く
一行一句にも
我等兄弟の
努力が溢れ、鮮血がにじんで居る
ブルジョア　一部の人々に嫌れるも
お前の力が　餘に强いからだ
おゝ
何んと雄しき事ではないか
お前は我等の
指導者よ　鞭韃者
其してまた　無二の親友よ
共々手をたづさへ
我等の目的に　進まん

妖怪の出現

熊本　德永　砂夫

諸兄！

ガンヂーが出、親鸞上人が現れた、私達はこうした妖怪の出現を、冷靜な頭で退散せしめなければならぬ。

如何に、醜惡を敵ひ詭謀を廻らさうとも、地上に幾億の無產者が呻吟を絕たない限り、私達の行くべき道は明白である。

「イエスの友會」が「靜思」が、日本全土に蔓延ならうとも、兄弟の無智な頭の中に、しづかに黎明を破りつゝある或物は、寸分の假借も許さぬであらう。

主義者の鬼門と稱ばれる南九州に、私は立派な收穫を見る積りだ

諸兄！

貧乏人でありたまへ、金でも拾つたら富豪の邸に返しに行き給へ、黄金を共同便所の踏板に用ひねばならない私達には、貧乏人であることが、より甚ければ甚いほど、最良の指導者となつてくれるからだ。

いゝかい諸兄！　忘れ給ふな　黄金の光りが私達貧乏人の血をどれだけ啜つたかといふことを――ね。

犬でさへ尾を振る

眞殿　眞二

先達つて御送りした原稿に對して、ウン、ともスンとも返事がないが、あの犬でさえ、燒芋のヘタをやつてさえ尾を振るではない、、一體どうしたのだ。日本の社會主義雜誌の編輯記者よ。

生れて二十幾年こんな變な人間に出會つた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のは始めてだ。

表では社會主義を明快にしやべり裏ではツンボかオシだなんて、

オイモツト人間らしくなつてくれよ。日本の種蒔く人を編輯する社會主義者よ、

無名の男だからといふのか。

早大の教授だからといふのか。

三越のヘツポコ店員だからといふのか。

さあ來い。

何んぼなと戰ふぞ。

正しくあれ

正しくあれ。

惡るければ惡るかつたといつてくれ。

種まき社の編輯人。

係曰――惡かつた』と云ひます。何かの手落ちです。

六月號を讀んで

鈴　賢

十七日の讀賣で種蒔く人の廣告を見て、七月號かと思つたら六月號だつた。そうだ俺は待草臥て六月號失念して居たのだ、阪神講演會の記事を讀んで同人御多忙の爲めと御察し申上けるものゝ發行を待草臥れて失念させない樣に、とにかく江戸の敵を阪神で取つた、講演會の成功は喜ばしい。

俺の第二の故郷の大阪では聽衆が僅少だつた樣だが、頭數の多數は講演會の成功不成功に正比例しない、一人でも眞面目な聽手が頼しい、種蒔く人は主義の人でブローカーじやないのだから。

大阪の若い人は有望だと思つた、なんて失禮な事は言ひつこなし。いざとなると金や勞力を惜まず徹底的にやるのが大阪人だ、公會堂一つ設立しても解ることだが、見掛倒しの奥行のない仕事をする自稱江戸子いや江戸住人のすることゝわ理由が違ふ。

今に見給へ、幾ら經營上とは乍言プロレタリア雜誌に三越の廣告を掲載する樣な見苦しい事をしない樣にと、どし／＼大阪から寄附が來るから。

誰か早く名乘りを上げて、火と水の中へ入つてくれ、とても長持はしない、けい子さんに反かれては婦人欄が淋しくてしようない、潤子さんたい子さん健在なりやお振い遊ばせと申上げる。

近來未明氏が持てるのは痛快だ、そうだ、彼に於ては藝術卽ち生活、彼は我國に於けるヴイリヤム、モリースだとは逸平老史よく言つてくれましたネー愉快々々。それにしても憫然なのは「宣言一つ」や「相片」でまごまごして居る人だ。靜かに讀めプロトテリアの文藝の資本論未明氏の力作を。

ブルジョアー文藝撲滅と同時に必要なのはブルジョアー新聞だ、四國協調の極秘を香せて買つたとて白々しく德川公の歡迎文を載たり、惠子事件社說を三回も載せる樣な吾々の生活に緣遠い新聞は撲滅の必要がある。

兄弟よ、エスペラントを勉强し樣う、そして講座の終る頃には、お互にエスペラントで文通が出來る樣にならう、もしもそんな事にでもなつたら田舍の犬供まで勉强する樣になり案外早く一般に普及されるかも知れない、何が幸になるかも知れないからネ！。

「種蒔く人」を商品化したくない、それは讀者卽ち同人のはずの兄弟達の責任で、兄弟達の働き一つに依るのだ、種を蒔う／＼。

一八日記。

自業自得のくるしみ!?

美　綠　石

一

何處へ持つてゆき樣がない
自業自得のくるしみ?!
一緒に卷込れて
何のためにくるしむか
わけのわからない妻子
子供が物ごころがつくと
たまらない
『パヽちやん！赤い帽子
K子の御帽子。あらあそこにねい。

パヽちゃんのもあつてよ。
御金がないのね
買つて頂戴つて坊や云わないよ』
おそろしく呑込んでゐる
子供ながらも
家の親爺には金がなくつて
買へないものと思つてる。

二

結婚したのが虚僞だ。
いやそれより先に戀をしたのが虚僞だ。
子供をこしらへるなんて
生意氣だよ。大虚僞だよ。
妻子をね。いゝかいわかるかい。
扶養するに足る丈の
經濟的能力のない中に
妻子を出かしたのが虚僞だ。
無分別な
克己心のない
利己的な愚昧な青年男女の結婚
その例にもれない。
自業自得だよ。
今になつて蟲がよい事を
いくら云つたつて
だれが同情するものかい。

三

もつとはたらけ
酒をのむなんて矛盾だね
煙草をよくスパ／＼すつてるね
本職以外專門以外のね
書籍をよむなんて間違つてる。
高い金！君にとつて尊とい金だ
其金を出して買つて讀んでさ
君自身を害してる。
藝妓を揚げて騷ぐ
鵜の眞似をするカラスだ
あきれてものがいへない
女郎買をする。妻があつても
白首を敵手に酒をのむ
何だい。それは！一體君はね
氣がどうかしてるのか
自業自得でくるしむのさ

四

御前は其まゝで進んでゆくか
御前の前を歩ゐて滅びた人々を
よつく眼をあけて見給へ
御前はノン氣なことを云ふて
サラリイを小遣錢にしてる
よろこんでころこんで
だけどね。御金で結婚しないよ。
條件つきぢや。眞平だよ。
奴隷にされちや。眞平御免だ。
恩にきせられちや。憚り樣だい。

五

利息——利息——そら又利息
氣持よくふゑてくれ
決して郵便貯金や銀行の預金の
利息の増計と計がちがふ
鼠算でふゑてく。
その利息をだれがね一體全體
せしめるんだ。
支拂のは俺と俺の妻子だ。
きまつてる。
不當の利息だ。
オドリを踊つて
利息がゾクゾクと増える。
アイス！アイス—アイス！か
主エスは我を愛す！だ。
間違つちやいけねい
おい兄弟よ。なあ間違つちやいけない。

六

盗みたくなる心持
それは非常(アブノルマル)なことだ
不正なことだ。
公金にしろ私金にしろ
正當にさ
額に汗して得ない報酬だから
『しかし』も糞もあるものか
世の中の何れ樣が
不正をはたらこうともな
自己を尊重しろよ
御前さんのゆく道には黄金が敷ゐてある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

こゝの眼のあき所
こゝは御國を三百里
遠い遠い旅の空に
き迷ふても
心ばかりは貧乏するな

七

何んだつて
地獄があるか
極樂があるかつて
私達は死んでからのことを考へて
ハンデイキャップを現世につけて
くるしみぬいて
青春を終らし
壯年時代を終らし
老年を終らして
死んでゆく
それでよいか！
生きてる中がほんとうの樂であつて
死んで花果があるものか
死んでから後にくるしむ？
盜みたくなる心持！
盜みたくなる心持！

八

經濟學の原則は
人々に盜みたくなる心持を
起させてる。
『最少の勞力を以つて
最大の報酬を得る』
盜むことが一番手短なことだ。
公安に害のない樣に
盜んだ自動車が
ヘッドライトを光らして
盜むこと知らぬ人々に
泥をはね飛ばして疾走する。
暗夜に疾走する自動車
溝も小山も飛びこして
暗中飛躍だ！
眼をつぶつて
そして自業自得のくるしみ。

九

何がなんだ。
何が何んて何がなんだ
ぬすめ！　ぬすめ！
朝寢坊して時をぬすめ！
怠業してサラリーをぬすめ！
しれてるこつちやわい
それで滿足されるなら
それで御前さんが
氣安めになるなら
キネマを見て居るときの心持
帝劇の三階でよつぱらつてる時の心持
ギンザをぶらついてる時の心持
幾万の人がうめいてる。
運命だ。
時だ。
凡てのものは〇〇〇〇さるべき時だ。（了）
（大正十一年一月七日稿）

飛んで來た種子

鳥取　一夫生

裏日本の我が寒村にも貴社の種子が飛んで參りました。私の手にも落ちました貴社樣我國プロレタリア文字の爲め又文化のため大にやつて下さいたのみます。

プロの手帖より

M生

俺は社會を睥睨するに物質運動を離て精神運動に去らんとして居るのを見るとユモラアスを感じる。

思想は流れ時代は過ぎ行く今日である、俺らプロレタリアには食ふと云ふ動物本能あるのみだ其から後に色々な問題に遭遇すべきだ

たまにプロレタリアに關した運動でもあれば其は皆なブルジョアの狗をする××の××詩人××の×××の輩の樣な集團であるかと思ふと些か失望悲哀の感に滿される。

其樣な運動者が如何に居るとも我々プロは救れないかへつて其僞に生地獄の難業を荷ふ社會で最大不幸者とならねばならぬ俺は其輩

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が増へる事はプロの反感憎悪を買ふものだプル〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇云ふ事を何で聴くと思て居るか其なものは焼石に水に等しい沙汰である止めてくれ、俺は俺等の中には死んだ運動を持ち込んでも何の効力はない唯笑ひ物になる丈けだ幼稚な傀儡にかゝる様な盲者ばかり居らないのだ、資本主義（キャピタリズム）や軍國主義（ミリタリズム）の思想を隠して勞資共協を奉してプロを糠喜びさせる淺間しさにはあきれてものも云へない俺等の仲間を苦めるかと思ふと殺してしまい度い迄憤慨心が彌が上にも高まる。

羊頭を掲げて狗肉を賣るグループは撲殺して日の光を見せない様にしたいものだ、俺等仲間は純粋なプロの俺らで團結してしなければならない、異分子を入るべからずだ。

俺に云せれば××の××××や×××の×××は社會の寄生蟲に等しいものだと思ふ眞に我々プロの味方から味方らしい主義主張があつたらうが主義として何んだロシヤのトルストイの類似主義の俺はハンブルを感じて來る軍隊の教育なら知らぬ事俺等プロの生死を煎に見て何んたる沙汰かブルの見物にされた關西のプロはいゝ面の皮だ結果はをして知るべしだ、××の×××も俺らプロは餘りに浮交渉すぎるグループだ、××の××××より一増ユートピアだ、彼等の中にも共鳴する點もあらうがプロの俺らには少からず遺憾に思ふ、根本思想を異にして居るからだ、俺は何も彼らのスパイではない俺は立派なプロレタリアで朝から晩迄で齒車の様にかけ廻て居るのだ、

プロの俺らが眞に救はる時は今後何時の事か不可解な事である、共協もプロの勞資ならプロも眞實喜悦して贊成し成立する事は明白な事實だ、宗教的觀念だの何んのと叫んでも弱き者を救ふ宗でなく弱者を苦める宗教などを誰が信仰するものか俺は外國で有名な人が云た言葉が思ひ當た「弱き者の名よ汝はプロレタリアなり」とかかる俺はロシヤの飢へて居るのを聞き知た時は悲哀の念に一杯となつてしまつた、社會主義者の人々がよい事して下さる事を心のどん底から感謝する外ない、

俺はロシヤの事を考へて斷念した、只一時的だ俺の理想はプロの自由と開放を望むのみだ因襲思想を破て新しい光明の世界は誰の手によつて建設されるの？無論我々プロの手中に

プロは目ざめて眞實に生るべきだ。

馬鹿ツ、井篦節三

片岡芳雄

六月號「雄辯」に近頃續出の所謂新思想家組の一人……井篦節三なる男が「山川均氏の矛盾の悲哀」と題して山川氏の思想觀を書いて居る。

先づ陣頭に宮崎龍介が否々といつて山川氏は果して何主義者だらうといふ。例を引き出してか野依雜誌二月「予の奉する主義號」の山川氏の答辯を掲げ更に成程山川氏の社會主義には異はないだらうそれは宮崎君も私も知つて居る「略」旗幟の鮮明でないのは山川氏のみには限らぬ「略」或ひは穏健なる社會改良主義の勞働運動者とさへ堺氏に認められた山川氏は其後一二年内に宮崎君の所謂「山川商店」をパリーからモスクワに移轉させてソビエットロシアを日本に輸入する、「略」或ひは亦山川商店が今後何れへ移轉するか前途窺ひ知るべからざる故か「略」「どうせ現代の社會組織では矛盾のない生活は求められない」といふのが山川氏の信條である即ち人は皆な罪人だ」と觀る點に於て山川氏をキリストも同じだ只山川氏はキリストや親鸞よりも高遠な理想を夢みて居る丈の相異である「略」山川氏には著作よりも翻譯が多い「略」女性的な學者肌の負けじ魂から競つて新思想か新事業の輸入紹介に忙しい迄のことである…… 大略以上の如うな妄想を述べている。

古雜誌の黴の生へた廃箱の掻き集めには私のやうな愚鈍な者にも多少の義憤を起させる無産階級解放に努力し邪虐極まるブルヂョアの壓制下に艱苦を凌いて立つ社會運動の戰士

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山川氏等社會主義者は勿論井箆輩の小ブルヂョア自由主義者には耳を藉さないのであらう而し山川氏は旗幟である勿論學者でもない旗幟の不明と思ふのは小ブルヂョア輩のみだ。貴様は現代の矛盾ある生活を認める山川氏の言辭を嘲ふ貴様自身を益々疑はれてならない若し貴様が現社會を否定して理想社會を夢想していると假定して貴様は資本主義社會の飯を食はないと云ふのか否こんな無根據な言說を賣つて金儲けに腐心する貴様が何んで食はずにいられるか。眞に山川氏の言の如く我々は現代社會で我々は矛盾ある生活をせしめられているのだ。プロレタリヤの矛盾の無い生活の出來る社會組織を建設せんが爲め努力しているのだ。

飜譯論の非難はブルヂョア階級とその走狗のプロレタリヤにさし向ける言論上の唯一の武器である。之とても我々にはブルヂョアの迷妄を不可思議に感ずる許りだ。日本の資本主義工業組織の成立は全く外國からの飜譯である蒸汽機關も更らに勞働階級を搾取する偉大なる工場制度か賃銀奴隷制も凡べては海外の資本主義の飜譯である而しブルヂョアは自身の存在を危くする社會思想の飜譯は魂として拒避し許さない。井箆は自分自身さへも忘れて山川氏を飜譯論者だと非難する。我々は之に依つて彼がブルヂョアの御多分に漏れないといふことを知る許りだ。

先づ井箆節三のこの雄辯編輯者から貰つた報酬に價ひする丈のことを書かうとした古雜誌掻き集めの苦衷は察することも出來るが此の如うな小ブルヂョア智識階級の部類のものこそ資本主義倒壞に有害なものはない。ロシア革命に於いても如何程ブルヂョア自由主義者が有害であつたかと云ふ經驗を見ている。資本主義の寄生蟲だか勞働階級の寄生蟲とも知れない眞に有害極まる幽靈階級の一人井箆節三の如き一蹴の下に葬つてしまひたい。終

テロの夢

滿洲にて　高橋純二

歩みつかれて綠の蔭に
ああ！　凉しい風がふいてくる
上と下との瞼が仲よしになつて來た
〇〇を撒く、ポスターを貼る、
〇〇〇〇〇、〇〇、〇〇、〇〇
毎日々々よるでもひるでも
同じことを繰り返してゐる
運動のための運動なら
運動のための奴隷となるなら
所謂運動といふことのために
十年一日の如く
俺のからだを捧げたくない
人間の生命には限りがある。
生れた時から死の影がつきまとつてゐる
おそいか早いかどうせ死ぬんだ
しぼりしぼられて死ぬよりも
しぼられないさきに死ぬことが
本當に生きることなんだ
名古屋の同志伊串英治君も云つた
『刹那に生きたい』……と
俺達の人生はスペキューションだ
奴を〇〇〇上にのせるか
ギロチンを〇〇〇〇〇〇めるか
二つに一つどつちかだ、一六勝負だ
おさえられ、しいたげられて
いつ來るかわからない理想にだなんて
空氣をつかんだやうなものをあてにして
氣ながに待つことが出來得やう？
そうだ！　俺はもう我慢が出來ない
辛棒しきれない、堪え得られない
理想も糞もあるものか
〇〇〇〇〇ければよい
〇〇すればそれでよい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

〔比較〕
- Ŝi havas ducent pomojn. 彼女は二百個の林檎を持つ。
- Ŝi havas du centojn da pomoj. 彼女は林檎の二百個を持つ。

【注意】 前置詞 da は數量關係を示す以外の場合には絶對に用ひず。

§5) A：分數　接尾字 -on- を挿入す。

名詞
- du　二　duono　半分
- tri　三　triono　三分の一
- kvar　四　kvarono　四分の一

形容詞
- du　二　duona　半分の
- tri　三　triona　三分の一の
- kvar　四　kvarona　四分の一の

副詞
- du　二　duone　半分に
- tri　三　trione　三分の一に
- kvar　四　kvarone　四分の一に

du trionoj = $\frac{2}{3}$ 三分の二

tri trionoj = $\frac{3}{3}$ = 1

Li tranĉis duone la pomon 彼は林檎を半分に切つた。

B：倍數　接尾字 -obl- を挿入す。

- du　二　duoblo　二倍
- tri　三　trioblo　三倍
- kvar　四　kvaroblo　四倍

- du　二　duobla　二倍の
- tri　三　triobla　三倍の
- kvar　四　kvarobla　四倍の

- du　二　duoble　……
- tri　三　trioble　……
- kvar　四　kvaroble　……

Mi havas duoblan malfeliĉon. 私は二倍の不幸を持つ。(二重の不幸をなめてゐる)

Proletario suferas duoble. プロレタリヤは二重に苦しんでゐる。

C：集合數　接尾字 -op- を挿入す。

- du　二　duopo　雙
- tri　三　triopo　三個合體
- kvar　四　kvaropo　四個合體

- du　二　duopa　二つ一緒の
- tri　三　triopa　……
- kvar　四　kvaropa　……

- du　二　duope　二つ一緒に
- tri　三　triope　……
- kvar　四　kvarope　……

Kiomope ni estas? 吾々はみんなで何人ゐるか？(kiom 幾等)

〔比較〕
- duobla folio.　二倍の葉 (葉の分量)。
- duopa folio.　雙生の葉。
- triobla papero.　三倍の紙 (紙の分量)。
- triopa papero.　三枚合せの紙。

【練習】 次ぎの文章をエス語に譯せよ。

少女の頭―茶色の人が來た―金髪―ヘンリー王の宮殿―娘達は母を愛す―皇帝ナポレオンは全土に君臨した―ブルヂョア (burĝo) はプロレタリアを搾取 (ekspluati) する―人間は人間に對して (kontraŭ) 狼 (lupo) である―妹に熟れた櫻實を持つて來ておやり―東京は大都會である―其處には (tia) 大勢の (multa) ブルヂョアとプロレタリアがゐる―ブルヂョアはプロレタリアの敵 (malamiko) である―資本家 (kapitalisto) は勞働者 (laboristo) の敵である。

第四課　Leciono Kvara.

§1) 前置詞　は語と語の關係を示す爲めに用ひられる不變語である。

A：各々の前置詞にはそれぞれ限定された意味がある。その意味に從つて用ひ場所を變へる。

B：重なる前置詞とその意味並びに用法。

a：-de　の, から, より　等の意味を持ち, 佛の de, par, depuis, 英の of, by, since, from 等の意味に該當す。

1°　所有を意味する場合。

例：La libro de la patro.　父の本。

2°　當該を意味する場合。

例：botelo de vino.　酒の瓶。

3°　起源若くは出發點を意味する場合。

例：de hodiaŭ.　今日より。

de tri tagoj.　三日前から。

Li venas de Tokio.　彼は東京から來る。

Tiu ĉi libro estas verkita de S.　此の (tiuĉi) 本はSによつて著述された (verkita) のである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

【第三課補】或る場所から他の場所へ，或る状態から他の状態へ，或る位置から他の位置へ，の變更を示す場合，及び日時を示す場合には，その運動の目標を示す語に -n を附す。

例： Mi iras en la gardeno*n*. 私は庭へ行く。

Kie*n* vi iras? 君は何處へ行くか？

Mi iras dome*n*. 私は家へ行く。

第三課 Leciono Tria.

§1) 動詞 各國語の習得に際して最も困難を感ずるのは動詞の變化である。然るにエス語に於ては之亦極めて正確に簡單に組織されたり，如何なる動詞も，只その時と法とによつて語尾を變化させれば良いのである。而してこの語尾には，人稱，數，性，等の如何は絶對に關係しないのである。

直接法	現在 -as	Mi skribas. 私は書く	Li parolas. 彼は話す
	過去 -is	Mi skribis. 私は書いた	Li parolis. 彼は話した
	未來 -os	Mi skribos. 私は書くだらう	Li parolos. 彼は話すだらう。
約束法	-us	Mi skribus. 私は書くだらうに	Li parolus. 彼は話すだらうに
命令法	-u	skribu 書け	parolu 話せ
不定法	-i	Mi povas skribi. 私は書き得る Li povas paroli. 彼は話し得る	

〔比較〕 se li aŭdos, mi parolos. 若し彼が聞くなら話さう。
se li aŭdus, mi parolus. 若し彼が聞くならば話さうものを。

(vi) parolu. (お前話せ)。
ni parolu. (吾々は)話さう――さあ話さう。
Li parolu. 彼に話させろ。

【注意】 吾々が話さう，彼に話させろ，といふやうな場合には必ず人稱代名詞 ni, hi が附くのであるが，二人稱即ち(君，お前)といふ場合には，單に動詞だけを云へば良い。

parolu 話せ(お前が)，skribu 書け(お前が)の如し。

§2) 數詞

ウヌ unu 1	ドゥー du 2	トゥリー tri 3	クヴール kvar 4	クヴィーン kvin 5
セス ses 6	セプ sep 7	オク ok 8	ナウ naŭ 9	デク dek 10
ツァント cent 100	ミル mil 1000	unu 一	dek 十	
cent 百	mil 千	dekmil 萬		
centmil 十萬	miliono 百萬			

如何なる複雑なる數を言ひ表はすにも，以上の數詞を日本語通りに連絡させれば良い。即ち

dekunu 11　dekok 18　dudeksep 27
kvardeknaŭ 49　dudekok 28
kvindeknaŭ 59　kucentridek 230
dumiltricentsesdekkvar 2364
Kvinmilsescentnaŭdekkvin 5695
dudeknaŭmilkvarcentdekses 29416
tricentokdeksepmiltricentsesdekkvar 387364 の如し。

§3) 數詞の變化 以上の數詞に Leciono Dua 第二項に於て説明せる語尾を附すれば，數名詞，數形容詞(順序數)，數副詞となる。

unuo 單位，一位，一個
unua 第一の，最初の
unue 第一に，最初に

duo 一對
dua 第二の
due 第二に，次に

trio 三幅對，三部
tria 第三の
trie 第三に

dekduo 一ダース
du dekduoj 二ダース
du duoj 二對

§4) 前置詞 da 數名詞を用ひて物の數を云ひ表はさんとする場合は，必ず前置詞 da を置く。

例 cent da pomoj. 林檎を百個。林檎の百。

du dekduoj da krajonoj. 鉛筆を二ダース。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金子洋文氏著（人と思想叢書第一卷）

生ける武者小路實篤

四六版
百三十頁
定價
九十錢

愈發賣さる

凡る意味に於て武者小路實篤は世界の人である、彼を解剖し批判し檢討することは、同時に日本及世界の思想藝術を鮮明することに外ならない、武者を論ずるに洋文ほどふさはしい者はゐない。彼は武者を尊敬し愛してゐる、而も彼は武者の追後者でない、彼は思想的に武者と對立する。新らしく擡頭しつゝある時代の革命精神に燃え立つ精鋭の彼が、如何に武者を論じ、武者を生かし、武者の思想を剔抉してゐるか、革命非か是か、暴力の肯否如何！蓋しこの書は現今世界の視聽をあつめてゐるロラン對バルビユスの論戰をそのまゝ觀る感がある

東京府下代々木大山千四十四番地
種蒔き社出版部
振替東京五九三八七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前月號目次

自由主義への階段(題言)……
世界平和、人類愛、撤兵と飢饉(社論)……
ロマン・ロオラン對 アンリ・バルビユスの論爭……(五通完譯)……
ごろつき食倒し論……中西伊之助
中西氏に答ふ……平林初之輔
シベリア通信……
世界欄……
批評……
地方欄——發人——赤帶……
飢えたるロシアを救へ……ナンセン博士
(飛びゆく種子第四號)……

編輯後記

先月——七八月合併號は非常な好評を受けた。殆んど賣切れた。今月は赤色プロレツトカルト、インタアナショナルでうんと力を入れたつもりだ。しかし都合で社會主義講座は休んだ。この點十分おわびする。

が、ナンセン博士の『ロシアを救へ!』を、第四號『飛びゆく種子』として出した、その上秋田、土崎などでは、小牧、洋文、賢三、孝丸——都合四人が、秋田雨雀、藤森成吉其他の諸氏と力を合せて、ロシヤ飢饉の救濟講演をやつて廻つた。そして何處でも實に完全に成功した。で、代々木に殘つた連中なんかは負けないつもりで、近々中國九州あたりへ出かけて行くと力んでゐる。殊に來月は僕等の雜誌が生れて丁度一週年に相當するので、みんなが今から何か一つどえらい仕事をやらうと密かに計畫してゐる。それに洋文の『生ける武者小路實篤』もいよいよ今月の末頃には堂々市場に出る筈だし時期も丁度秋で大變氣持ちがいゝから、すべてに亘つてうんと働けると思つてゐる。

定價 一部四拾錢◇半年前金貳圓四拾錢◇一年前金四圓六拾錢御註文はすべて前金のこと◇代金の領收は雜誌發送を以てする◇送料內國壹錢外國四錢

廣告 廣告及廣告料については直接本社へ問合せを乞ふ

宛先 寄贈、通信購讀申込及び送金、其他本誌に關する一切の御用向書籍雜誌等の寄贈は凡て「種蒔き社」宛

締切 每月五日

大正十一年八月廿八日 印刷納本
大正十一年九月一日 發行

東京府下代々木大山千四十四番地
發行人編輯人 印刷人 今野賢三

東京市神田區今川小路一丁目一番地
印刷所 同工社

東京府下代々木大山千四十四番地
發行所 種蒔き社
振替口座東京五九三八七

大賣捌 東京堂 上田屋 北隆館 至誠堂 東海堂

蒔種く人 第二年第三卷第十二號 (大正十年十二月一日第三種郵便物認可) 大正十一年八月二十八日印刷納本 大正十一年九月一日發行

本號特價三十錢

蒔種く人 第二年第三巻第十二號（大正十年十二月一日第三種郵便物認可）大正十一年八月二十八日印刷納本 大正十一年九月一日發行

本號特價三十錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA